

ソリッドステート メモリーレコーダー

取扱説明書

PMW-EX30

お買い上げいただきありがとうございます。



警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の
取り扱いかたを示してあります。この取扱説明書をよくお読みのうえ、
製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、
いつでも見られるところに必ず保管してください。

XDCM EX SXS CINEALTA i

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることもあり、危険です。

事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

7～10ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記されています。

定期点検をする

長期間、安全にお使いいただくために、定期点検をすることをおすすめします。点検の内容や費用については、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

故障したら使わない

すぐに、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

- 煙が出たら
- 異常な音、においがしたら
- 内部に水、異物が入ったら
- 製品を落としたり、キャビネットを破損したときは



- ① 電源を切る。
- ② 電源コードや接続ケーブルを抜く。
- ③ お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご連絡する。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながる可能性があります。



注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電



注意

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

行為を指示する記号



指示

目次

⚠ 警告.....	7
⚠ 注意.....	8
電池に関する安全上のご注意	9
その他の安全上のご注意	10

第 1 章 概要

本機の特長	11
ソフトウェアの使いかた	13
CD-ROM マニュアルを読む	13
各部の名称と働き	15
前面パネル	15
後面パネル	24
上面パネル	27
赤外線リモートコマンダー（付属）	28

第 2 章 準備

本機を起動する	30
電源に接続する	30
起動する	30
時計を合わせる	31
液晶ディスプレイを調整する	32
ビデオフォーマットと入 / 出力信号	33
ビデオフォーマットを設定する	34
ビデオフォーマットと出力信号フォーマット	34
本機で扱えるタイムデータ	38
タイムデータを表示する	38
SxS メモリーカードの取り扱い	39
SxS メモリーカードについて	39
SxS メモリーカードを入れる / 取り出す	40
使用する SxS メモリーカードを切り換える	42
SxS メモリーカードをフォーマット（初期化）する	42

残りの記録可能時間を確認する	43
SxS メモリーカードを修復する	44
外部ハードディスクを使う	45
PHU-120R を取り付ける／取りはずす	45
PHU-120R をフォーマット（初期化）する	45
残りの記録可能時間を確認する	46
PHU-120R を修復する	46
メディアアダプターを使う	47
フォーマット（初期化）する	47
赤外線リモートコマンダー（付属）を使う	49
スタンド（付属）を使う	51
文字情報をスーパーインポーズする	51
文字情報の表示をオン／オフする	51

第3章 記録・再生

記録	53
記録時の設定	53
記録する	55
ショットマークを記録する	56
再生	57
再生時の設定	57
再生する	57

第4章 クリップの操作

クリップの再生	60
サムネイル画面	60
クリップを選択して再生する	62
リピート再生する	63
クリップ操作	64
クリップ操作メニュー構成	64
クリップ操作メニューの基本操作	65
クリップの詳細情報を表示する	67
クリップにOK マークを付ける	68
クリップをコピーする	68
クリップを削除する	69
クリップエクスパンド画面を表示させる	69
ショットマーク画面を表示する	71

ショットマークを追加・削除する	72
クリップの代表画を変更する	73
クリップを分割する	74

第 5 章 タイムデータの設定と記録

タイムコードやユーザービットを記録する	75
タイムコードの初期値とユーザービットデータを設定する (プリセットモード)	76
記録済みのタイムコードに続けてタイムコードを記録する には (リジェネレートモード)	77
外部タイムコードに内蔵タイムコードジェネレーターを同 期させる —外部同期 (外部リジェネレートモード)	77

第 6 章 外部機器の接続と本機の使用例

外部ビデオモニターを接続する	78
コンピューターでクリップを管理・編集する	80
HD SDI 端子を使って接続する	83
クリップをダビングする	83
ライブ収録システムを構成する	83
i.LINK 端子を使って接続する	85
クリップをダビングする	85
外部入力信号を記録する	86
ノンリニア編集する	87

第 7 章 ステータス画面

ステータス画面を表示する	89
オーディオステータス画面	90
ビデオステータス画面	91
リモート / メディアステータス画面	92

第 8 章 メニュー表示と詳細設定

セットアップメニューの構成と階層	93
セットアップメニューの構成	93
セットアップメニューの階層	93
セットアップメニューの基本操作	94

セットアップメニュー一覧	97
AUDIO SET メニュー	97
VIDEO SET メニュー	98
LCD SET メニュー	99
TC/UB SET メニュー	100
OTHERS メニュー	101

付録

使用上のご注意	106
定期点検	107
デジタル時間計	107
トラブル時の対処	108
警告表示	110
エラー表示	112
i.LINK について	113
仕様	114
MPEG-2 Video Patent Portfolio License について	117
保証書とアフターサービス	117
索引	118



下記の注意を守らないと、**火災や感電により死亡や大けが**につながる可能性があります。

 <p>分解禁止</p> <p>内部を開けない 内部には電圧の高い部分があり、キャビネットや裏ぶたを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となることがあります。内部の調整や設定、点検、修理、別売りのボードの取り付けはお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。</p>	 <p>指示</p> <p>指定の電源で使用する 取扱説明書に記されている AC アダプターでお使いください。指定以外の製品でのご使用は、火災の原因となります。</p>
 <p>禁止</p> <p>電源コードを傷つけない 電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 設置時に、製品と壁やラック、棚などの間にはさみ込んだりしない。 • コードを加工したり、傷つけたりしない。 • 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。 • 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。 • コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。 <p>万一、コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口に交換をご依頼ください。</p>	 <p>指示</p> <p>電源コードのプラグおよびコネクターは突き当たるまで差し込む 真っ直ぐに突き当たるまで差し込まないと、火災や感電の原因となります。</p>  <p>禁止</p> <p>油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない 上記のような場所に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。</p> <p>取扱説明書に記されている使用条件以外の環境での使用は、火災や感電の原因となることがあります。</p>
 <p>禁止</p> <p>内部に水や異物を入れない 水や異物が入ると火災や感電の原因となります。 万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、電源コードや接続ケーブルを抜いて、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。</p>	
 <p>禁止</p> <p>メモリーカードスロットに異物を入れない 指定のメモリーカード以外のものを入れると、火災や感電の原因となることがあります。</p>	



下記の注意を守らないと、**けが**をしたり
周辺の物品に**損害**を与えることがあります。



禁止

不安定な場所に設置しない
ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。



禁止

製品の上に乗らない、重い物を載せない
倒れたり、落ちたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。



指示

指定の電源コードおよび指定の接続ケーブルを使用する

指定以外の電源コードおよび指定以外の接続ケーブルを使用すると、火災や感電の原因となります。
他の電源コードや接続ケーブルを使用する場合は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

電池に関する安全上 のご注意

電池の使いかたを誤ると、液漏れ・発熱・破裂・発火・誤飲による大けがや失明の原因となるので、次のことを必ず守ってください。

ここでは、付属の赤外線リモートコマンダーで使うリチウムボタン電池についての注意事項を記載しています。

⚠ 警告

- 乳幼児の手の届かないところに置く。
- 電池は充電しない。
- 火の中に入れたり、加熱・分解・改造をしない。
- 電池の（+）と（-）を正しく入れる。
- 電池の液が目に入ったときは、失明の原因となるので、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で十分に洗った後、医師の治療を受ける。
- 電池の液をなめた場合には、すぐにうがいをして医師に相談する。
- ショートの原因となるので、金属製のネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しない。
- 電池に液漏れや異臭があるときは、すぐに火気から遠ざける。
- 電池に直接はんだ付けをしない。
- 電池を保管する場合および廃棄する場合は、テープなどで端子（金属部分）を絶縁する。
- 皮膚に障害を起こすおそれがあるので、テープなどで貼り付けない。

⚠ 注意

- 電池を落下させたり、強い衝撃を与えたり、変形させたりしない。
- 直射日光の強いところや炎天下の車内などの高温・多湿の場所で使用、放置、保管しない。
- 電池を水で濡らさない。
- ショートさせないように機器に取り付ける。

その他の安全上のご注意

重要

機器の名称と電気定格は、底面に表示されています。

警告

- ACアダプターは電源スイッチを備えていません。

設置の際には、容易にアクセスできる固定配線内に専用遮断装置を設けるか、使用中に、容易に抜き差しできる、機器に近いコンセントに電源プラグを接続してください。

万一、異常が起きた際には、専用遮断装置を切るか、電源プラグを抜いてください。

- イヤホンやヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

注意

付属の電源コードは本機の専用品です。他の機器には使用できません。

設置上のご注意

- 設置時には、通気やサービス性を考慮して設置スペースを確保してください。
 - 排気部をふさがない。
 - 通気のために、セット周辺に空間をあける。
 - 作業エリアを確保するため、セット後方は、10cm以上の空間をあける。
- 机上などの平面に設置する場合は、セット上部はサービス性を考慮し10cm以上の空間を確保することを推奨します。
- 機器を水滴のかかる場所に置かないこと。また水の入った物、花瓶などを機器の上に置かないでください。

概要

第 1 章

本機の特長

PMW-EX30は、幅広い用途での使用を可能にする多彩なインターフェースを搭載し、記録メディアにSxS¹⁾メモリーカードを採用する小型・高性能のXDCAM EX¹⁾シリーズメモリーレコーダーです。

同シリーズカムコーダーと同様に、映像は1920×1080高解像度、音声は非圧縮による高音質での記録および再生が可能です。

新世代のHD記録システム

新開発のノンリニア記録メディア

SxSメモリーカードを使用することによって、記録画像へのランダムアクセスやファイルベースの操作が可能です。

MPEG-2 Long GOP 画像圧縮によるHD記録

MPEG-2 Long GOP方式により、1920×1080のHD画像を記録します。

XDCAM¹⁾HDおよびHDV²⁾1080iと同じコーデックを採用し、クオリティーの高いHD記録を可能にしています。

ビットレートの選択が可能

要求される画質と記録時間に応じて、ビットレートを35Mbps(HQモード)

または25Mbps(SPモード)に設定できます。

長時間記録

高効率の圧縮方式によって、高画質のHD画像を32GBのSxSメモリーカード1枚にHQモード(35MbpsVBR)で約100分、SPモード(25MbpsCBR)で約140分記録できます。

2つのカードスロットのそれぞれにカードを装着しておくことによって、フレームをロスすることなく、2枚のカードに連続して記録することができます。

マルチフォーマット対応

各種のビデオフォーマットでの記録が可能で、様々なコンテンツ制作に活用できます。

- **プログレッシブ方式**：720/50P、720/59.94P、1080/23.98P、1080/25P、1080/29.97P
- **インターレース方式**：1080/50i、1080/59.94i

異なるフォーマットの画像でも、同じSxSメモリーカードに保存できます。

高品質の非圧縮音声記録

HD画像に合わせて、16ビット、48kHzリニアPCMによるオーディオ2チャンネルの記録が可能です。

IT 対応

MP4 フォーマットのデータファイルとして記録されるため、コンピューターでのデータのコピー、転送、共有などに対応でき、本機で記録した素材を様々な環境で幅広く活用できます。

待ち時間なしで記録を開始

フラッシュメモリーカードを記録メディアとして使用するため、記録開始ボタンを押すと、カードの空きスペースを使ってただちに記録を開始します。データが上書きされる心配や、カード上で記録開始点を指定する必要はありません。

エクスパンド機能付きサムネイル表示

記録開始・停止ごとに、ビデオ・オーディオを含む1つのクリップが独立して生成されます。本機をサムネイル表示モードにすると、各クリップがそれぞれサムネイル画像として表示され、目的のクリップを簡単に検索できます。さらにエクスパンド機能を使用すれば、選択したクリップを時分割してサムネイル表示することができ、長時間のクリップ内でのシーン検索が容易になります。

操作性を高める様々な機能とデザイン

高性能ダウンコンバート機能

HD 記録されたクリップの再生時、HD 信号をダウンコンバートして出力する機能を備えているため、SD システム (SD ノンリニア編集機、SD モニター、SD フォーマットデッキなど) との組み合わせが可能です。出力のアスペクト比は、スクイーズ、レターボックス、エッジク

ロップ (サイドカット) から選択できません。

多彩な入出力インターフェース

- **HD SDI** : HD デジタル映像と、重畳された音声、タイムコード信号の入出力が可能です。
- **SD SDI** : SD コンポーネントデジタル映像と、重畳された音声、タイムコード信号の出力が可能です。
- **i.LINKTM** : HDV ストリームの入出力および DVCAM ストリームの出力が可能です。
- **HDMI** : HD および SD デジタル映像・音声信号の出力が可能です。
- **COMPONENT** : HD および SD アナログコンポーネント映像信号の出力が可能です。
- **S-VIDEO** : SD アナログ Y/C 信号の出力が可能です。
- **COMPOSITE** : SD アナログコンポジット映像信号の出力が可能です。
- **AUDIO** : アナログ音声信号の入出力が可能です。
- **USB** : 付属の CD-ROM に収録されている専用アプリケーションソフトウェアをインストールしたコンピューターから SxS メモリーカードへのファイルアクセス (読み出し / 書き込み) が可能です。

リピート再生

任意のクリップを選択して、自動的に繰り返し再生することができます。テープのリピート再生と異なり、クリップ終了点から瞬時に開始点まで戻ることができるため、繰り返し再生が必要なイベントや展示会などで便利な機能です。

直感的な操作が可能なフロントパネル

コントロールボタン（PLAY/PAUSE、STOP、REC など）、入力選択スイッチ、録音レベル調節つまみなどに加え、サムネイルやメニュー操作の矢印ボタン（←、→、↑、↓）を装備し、従来のVTRに近い直感的な操作が可能です。

16:9 カラー LCD モニター（液晶ディスプレイ）

3.5 型 16:9 カラー LCD モニターを装備しており、記録・再生画像をその場で確認することができます。

またセットアップメニューやオーディオレベルメーター、各種ステータスなどもスーパーインポーズして表示することも可能です。

縦置きも可能なコンパクトサイズ

横幅はハーフラックサイズなので、例えば既存の HDV デッキの上に重ねて置いたり横に並べて置くことで、ラックなどへもスマートに収納できます。また付属のスタンドを使用して、コンピューターのモニターの横などへ縦置きすることも可能です。

- 1) XDCAM、XDCAM EX、SxS、iLINK およびリモートコマンダーは、ソニー株式会社の商標です。
- 2) HDV は、ソニー株式会社、および日本ビクター株式会社の商標です。

その他本機に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標、または商標です。

XDCAM EX web site

XDCAM EX に関連する情報については下記 URL をご覧ください。

<http://www.sony.co.jp/XDCAMEX>

ソフトウェアの使いかた

付属の CD-ROM（ラベル表示「Utility Software for XDCAM」）には、コンピューター上で SxS メモリーカードにアクセスしたり、撮影素材を管理するときに必要な、アプリケーションソフトウェアやドライバーソフトウェアが収納されています。また、ソフトウェアのインストール方法についての情報が、PDF 形式で記録されています。

ご注意

SxS メモリーカードを ExpressCard スロットが標準搭載されているコンピューターで使用するときは、コンピューターに SxS デバイスドライバーソフトウェアをインストールする必要があります。

CD-ROM マニュアルを読む

準備

CD-ROM に収納されている ReadMe やユーザーガイドをご覧いただくためには、以下のソフトウェアがインストールされている必要があります。

Adobe Reader 6.0 以上¹⁾

メモ

Adobe Reader がインストールされていない場合は、下記 URL よりダウンロードできます。



<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html>

1) Adobe、および Adobe Reader は Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の商標です。

マニュアルを読むには

次のようにします。

1 CD-ROMをCD-ROMドライブに入れる。

表紙ページが自動的にブラウザで表示されます。

ブラウザで自動的に表示されないときは、CD-ROMに入っている index.htm ファイルをダブルクリックしてください。

2 読みたいReadMe/ユーザーガイドを選択してクリックする。

PDF ファイルが開きます。

メモ

Adobe Reader のバージョンによって、ファイルが正しく表示されないことがあります。

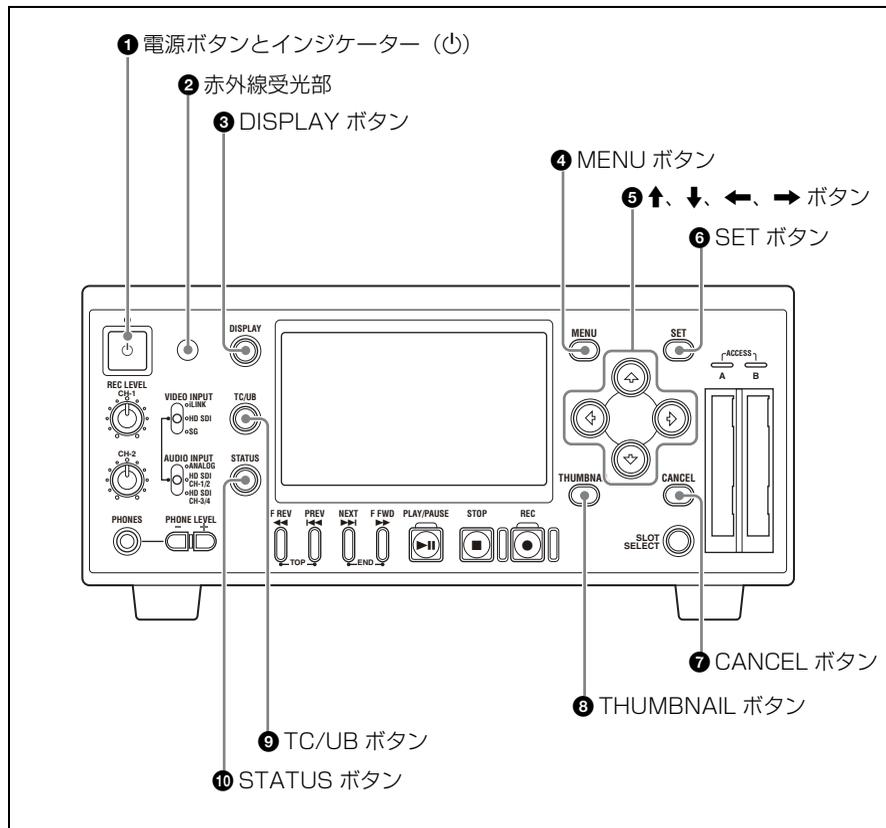
正しく表示されない場合は、「準備」の項の URL より最新のソフトウェアをダウンロードしてお使いください。

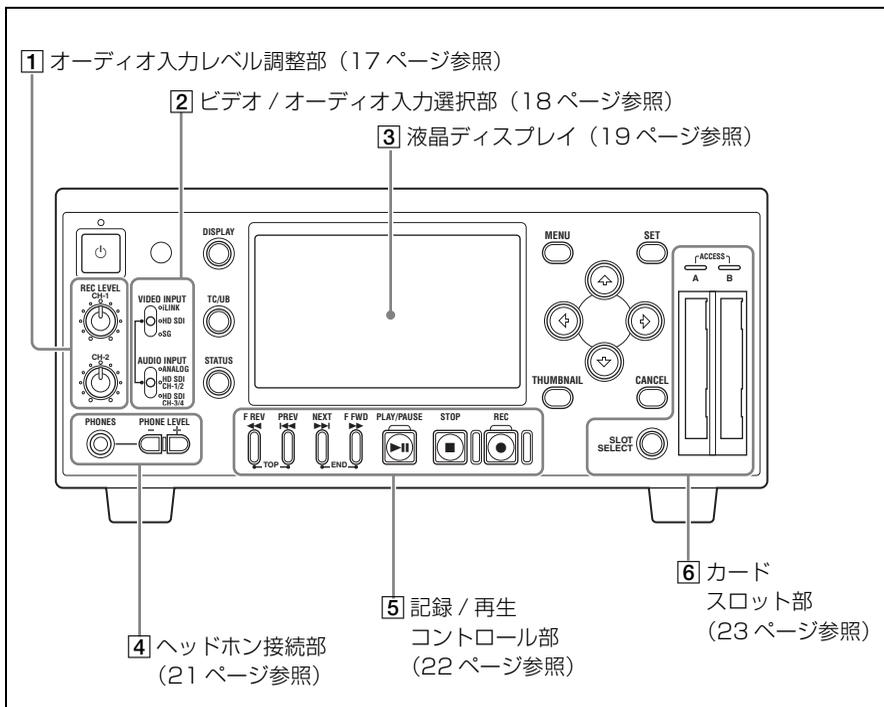
ご注意

CD-ROM が破損または紛失したため、新しい CD-ROM をご希望の場合は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください (有料)。

各部の名称と働き

前面パネル





① 電源ボタンとインジケータ (⏻)

付属の AC アダプター MPA-AC1 を使用して本機を AC 電源に接続 (30 ページ参照) すると、インジケータが赤く点灯します。(本機はスタンバイ状態になります。) インジケータが赤く点灯した状態でボタンを押すと、本機が起動し、インジケータが緑に点灯します。

本機が起動した状態でもう一度ボタンを押すと、インジケータが赤く点灯した状態 (スタンバイ状態) に戻ります。スタンバイ状態を解除するには、AC 電源への接続を外します。

② 赤外線受光部

付属の赤外線リモートコマンダーからの信号を受信します

③ DISPLAY (ディスプレイ) ボタン

記録 / E-E / 再生画の表示中にこのボタンを押すと、液晶ディスプレイおよび外部モニター画面に、メディア残量、音声レベル、タイムデータなどの情報がスーパーインポーズ (重ねて表示) されます。もう一度押すと、表示が消えます。

④ MENU (メニュー) ボタン

押すと、液晶ディスプレイおよび外部モニター画面にメニューが表示されます。もう一度押すと、元の画面に戻ります。

◆ メニューの使いかたについては、「第8章 メニュー表示と詳細設定」(93 ページ) をご覧ください。

5 ↑、↓、←、→ ボタン

メニューの中から項目を選択したり、サムネイル画面でクリップを選択するとき、およびタイムコードの初期値やユーザービットデータを変更するとき、これらのボタンを使用します。

また、通常再生時の再生コントロールに使用することもできます。

6 SET (セット) ボタン

メニューやサムネイル画面で、設定または選択した内容を確定したり、操作を実行するために使用します。

また、再生一時停止（静止画表示）時にこのボタンを押すと、クリップ操作メニューが表示されます。

7 CANCEL (キャンセル) ボタン

メニューやサムネイル画面で、設定や選択を取り消したり、操作を中止するために使用します。

8 THUMBNAIL (サムネイル) ボタン

押すと、液晶ディスプレイおよび外部モニター画面にサムネイル画面が表示されます。サムネイル画面の表示中にもう一度押すと、OK クリップだけのサムネイル画面に切り換わります。ボタンを押すたびに、全クリップのサムネイル画面と、OK クリップだけのサムネイル画面が切り換わります。

◆ サムネイル画面の使いかたについては、「サムネイル画面」(60 ページ) をご覧ください。

9 TC (タイムコード) /UB (ユーザービット) ボタン

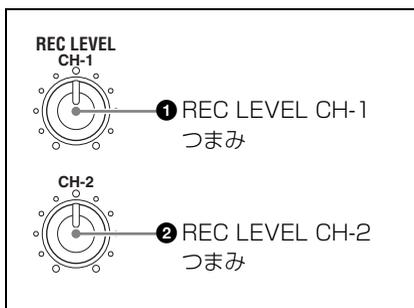
押すたびに、液晶ディスプレイおよび外部モニター画面のタイムデータ種別イン

ジケーター (20 ページ参照) が切り換わります。

10 STATUS (ステータス) ボタン

押すと、液晶ディスプレイまたは外部ビデオモニターにステータス画面が表示されます。もう一度押すと、元の画面に戻ります。

◆ ステータス画面の表示内容については、「第7章 ステータス画面」(89 ページ) をご覧ください。

1 オーディオ入力レベル調整部**1 REC LEVEL CH-1 (オーディオチャンネル1記録レベル) つまみ****2 REC LEVEL CH-2 (オーディオチャンネル2記録レベル) つまみ**

AUDIO SET メニューの Audio Input で、Rec Level を Manual に設定している場合に (97 ページ参照)、HD SDI INPUT 端子または AUDIO INPUT CH-1、CH-2 端子に入力されているオーディオ信号のチャンネル1、2の記録レベルを調整できます。

液晶ディスプレイまたは外部モニターに表示されるオーディオレベルメーター (21 ページ参照) を見ながら、最大音量のときにレベルが0dBを越えないように

調整します。0dBを越えるとOVERインジケータが点灯します。

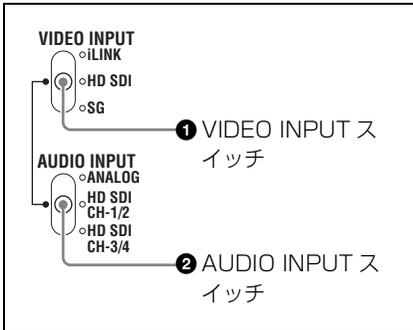
ご注意

HDV/DV端子に入力されたHDV信号を記録する場合は、これらのつまみでオーディオ入力レベルを調整することはできません。

HD SDI CH-1/2 : HD SDI INPUT 端子に入力されたHDSDI信号に重畳されているデジタルオーディオ信号のチャンネル1、2を記録する。

HD SDI CH-3/4 : HD SDI INPUT 端子に入力されたHDSDI信号に重畳されているデジタルオーディオ信号のチャンネル3、4を記録する。

2 ビデオ / オーディオ入力選択部



1 VIDEO INPUT (ビデオ入力) スイッチ

記録するビデオ信号を選択します。

i.LINK : HDV/DV 端子に入力されたHDV信号を記録する。

HD SDI : HD SDI 端子に入力されたHDSDI信号を記録する。

SG : 内部テスト信号 (100% フルカラーバー) を記録する。

2 AUDIO INPUT (オーディオ入力) スイッチ

VIDEO INPUT スイッチでHD SDIまたはSGを選択している場合に、記録するオーディオ信号を選択します。

ANALOG (アナログ) : AUDIO INPUT CH-1、CH-2 端子に入力されたアナログオーディオ信号を記録する。

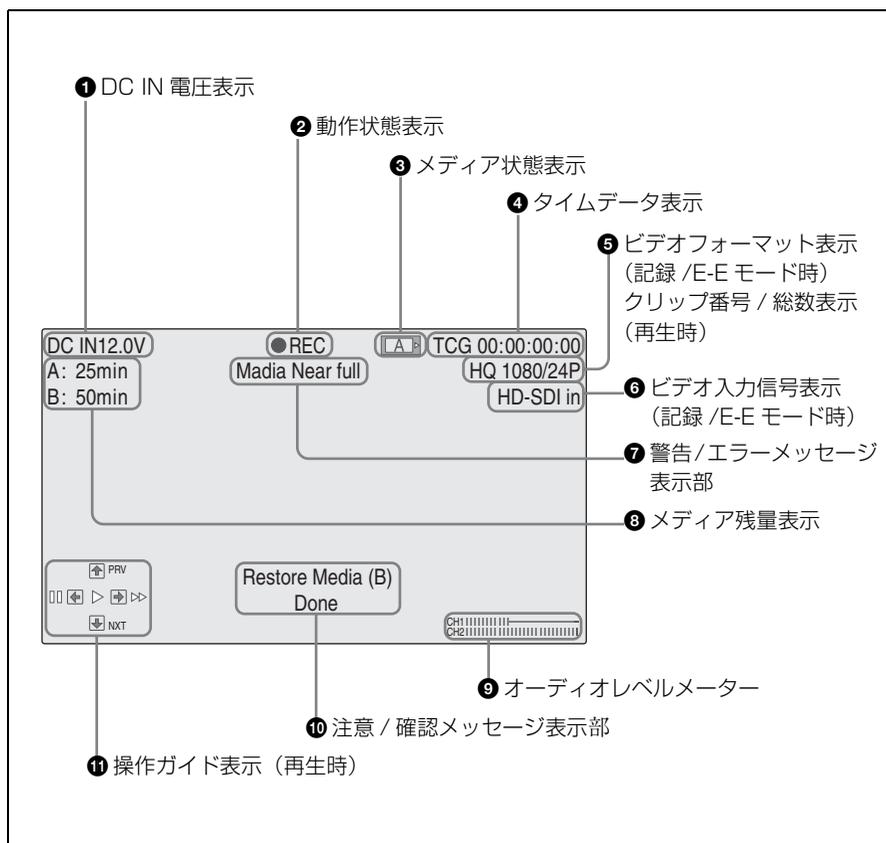
③ 液晶ディスプレイ

記録 /E-E/ 再生画、メニュー（93 ページ参照）、ステータス画面（89 ページ参照）またはサムネイル画面（60 ページ参照）が表示されます。

DISPLAY ボタンを押して情報表示をオンにすると、記録 /E-E/ 再生画の表示中に、下図のような情報がスーパーインポーズ（重ねて表示）されます。ただし、警告 / エラーメッセージ表示（⑦）と注意 / 確認メッセージ（⑩）は、DISPLAY ボタンの状態に関わらず、必要に応じて表示されます。

これらの情報は、HDMI 端子、COMPONENT 端子、COMPOSITE 端子、S-VIDEO 端子、HD/SD SDI OUTPUT 端子からの出力信号にスーパーインポーズして、外部モニター画面で確認することもできます（51 ページ参照）。

なお、本書の2章以降では、特にことわらないかぎり、本機の液晶ディスプレイと外部モニター画面を「モニター画面」と総称しています。



① DC IN 電圧表示

DC IN 端子の入力電圧を表示します。

② 動作状態表示

本機の動作状態を表示します。

③ メディア状態表示

カードスロット A と B の両方に SxS メモリーカードが装着されているときに、現在有効になっているメモリーカードを表示します。

	スロット A のメモリーカードが有効
	スロット B のメモリーカードが有効

④ タイムデータ表示

タイムデータ種別インジケーターとタイムコードまたはユーザービットの値を表示します。

TC/UB ボタンを押すたびに、タイムデータ種別インジケーターは次のように切り換わります。

- 記録 /E-E モード時

TCG：タイムコードジェネレーターが発生しているタイムコード

UBG：タイムコードジェネレーターが発生しているユーザービット

- 再生時

TCR：タイムコードリーダーが読み取ったタイムコード

UBR：タイムコードリーダーが読み取ったユーザービット

で注意

本機では、HDSDI 信号または内蔵テスト信号の記録時に、任意に設定したタイムコードおよびユーザービットを設定することが可能です。 HDV/DV 端子から

入力される HDV 信号の記録時は、入力信号に重畳されたタイムコードおよびユーザービットがそのまま記録されます。(表示は TCR または UBR となります。)

⑤ ビデオフォーマット表示 (記録 / E-E モード時) / クリップ番号 / 総数表示 (再生時)

記録 /E-E モード時は、現在のビデオフォーマットを表示します。

ビデオフォーマットは、ビットレート (HQ/SP) と有効ライン数、記録フレームレート、スキャン方式 (i/P) の組み合わせで表示されます。

再生時は、現在再生しているクリップの番号とクリップの総数が表示されます。

⑥ ビデオ入力表示 (記録 /E-E モード時)

VIDEO INPUT スイッチで選択されている入力信号を表示します。

⑦ 警告 / エラーメッセージ表示部

メディアの残量不足などの警告メッセージやエラーメッセージが表示されます。(DISPLAY ボタンがオンになっていなくても表示されます。)

⑧ メディア残量表示 (記録 /E-E モード時)

各スロットに装着した SxS メモリーカードの残量を表示します。

現在設定されているビデオフォーマット (記録ビットレート) で撮影した場合に記録可能な時間を、各スロット内のメディアの残量から計算して分単位で表示します。

ご注意

SxS メモリーカードがプロテクトされている場合は、 マークが表示されます。

9 オーディオレベルメーター

ピークレベルを表示します。基準オーディオ信号の出力時（54 ページ参照）には、オーディオレベルメーターの指標が -20 を指します。このとき AUDIO OUTPUT CH-1、CH-2 端子の出力がおおよそ -10dBu になります。

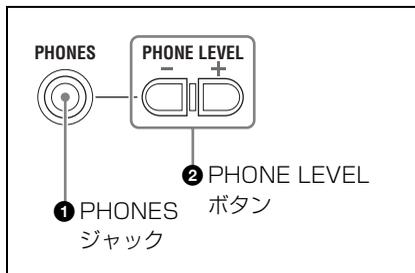
10 注意 / 確認メッセージ表示部

注意を促すメッセージや実行中、実行結果、対応要求、実行指示待ちなどのメッセージが表示されます。（DISPLAY ボタンがオンになっていなくても表示されます。）

11 操作ガイド表示（再生時）

←、→、↑、↓ ボタンの現在の機能および赤外線リモートコマンダーが有効な場合の PUSH SET ボタンの機能を表示します。

ガイド表示	動作
▶▶	4 倍速順方向再生
▶▶▶	15 倍速順方向再生
◀◀	4 倍速逆方向再生
◀◀◀	15 倍速逆方向再生
▶	標準再生
	一時停止
PRV	現在のクリップの先頭へ
NXT	次のクリップの先頭へ

4 ヘッドホン接続部**1 PHONES（ヘッドホン）ジャック（ステレオミニ）**

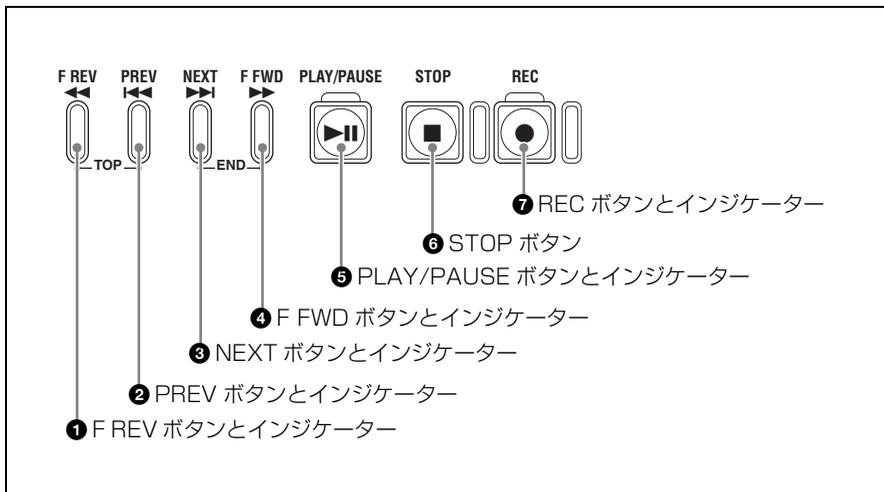
ステレオヘッドホンを接続し、記録、再生中の音声をモニターできます。モニターするチャンネルを選択するには、AUDIO SET メニューの Audio Output で、Monitor CH（97 ページ参照）の設定を変更します。再生中の音声をモニターするときは、必要に応じて Output CH（97 ページ参照）の設定も変更します。

2 PHONE LEVEL（ヘッドホン音量レベル）ボタン

PHONES ジャックに接続したステレオヘッドホンの音量を調整します。+ ボタンを押すと音が大きくなり、- ボタンを押すと音が小さくなります。ボタンを操作すると、液晶ディスプレイおよび外部モニター画面に音量レベルバーが表示されます。（レベルバーの表示は、操作終了後約 3 秒で消えます。）



5 記録 / 再生コントロール部

**① F REV (逆高速再生) ボタンとインジケータ**

逆方向の高速再生（音声はオフ）に使用します。ボタンを押すたびに、再生速度（4倍速 / 15倍速）が切り換わります。標準再生に戻るにはPLAY/PAUSEボタンを押します。

PREVボタンと同時に押すと、TOP（トップ）ボタンとして機能し、メモリーカードの最初に記録されたクリップの先頭にジャンプします。

F REVボタンが機能している間、ボタン上部のインジケータが点灯します。

② PREV (逆方向クリップジャンプ) ボタンとインジケータ

再生中または高速再生中に押すと、現在のクリップの先頭にジャンプして再生を開始します。

逆高速再生中または一時停止中に押すと、現在のクリップの先頭にジャンプして一時停止（静止画を表示）します。

PREVボタンを続けて押すと、押すたびに1つずつ前のクリップに移動します。

F REVボタンと同時に押すと、TOP（トップ）ボタンとして機能し、メモリーカードの最初に記録されたクリップの先頭にジャンプします。

PREVボタンが機能している間、ボタン上部のインジケータが点灯します。

③ NEXT (クリップジャンプ) ボタンとインジケータ

再生中または高速再生中に押すと、次のクリップの先頭にジャンプして再生を開始します。

逆高速再生中または一時停止中に押すと、次のクリップの先頭にジャンプして一時停止（静止画を表示）します。

NEXTボタンを続けて押すと、押すたびに1つずつ後ろのクリップに移動します。

F FWDボタンと同時に押すと、END（エンド）ボタンとして機能し、メモ

リーカードの最後に記録されたクリップの先頭にジャンプします。

NEXT ボタンが機能している間、ボタン上部のインジケーターが点灯します。

④ F FWD (高速再生) ボタンとインジケーター

高速再生 (音声はオフ) に使用します。ボタンを押すたびに、再生速度 (4 倍速/15 倍速) が切り換わります。

NEXT ボタンと同時に押すと、END (エンド) ボタンとして機能し、メモリーカードの最後に記録されたクリップの先頭にジャンプします。

F FWD ボタンが機能している間、ボタン上部のインジケーターが点灯します。

⑤ PLAY (再生) /PAUSE (一時停止) ボタンとインジケーター

押すたびに、通常再生と一時停止 (静止画表示) が切り換わります。

ボタン上部のインジケーターは、通常再生が行われている場合に点灯し、一時停止中に点滅します。

⑥ STOP (停止) ボタン

押すと、実行中の再生や記録が停止します。本機は E-E モードになります。

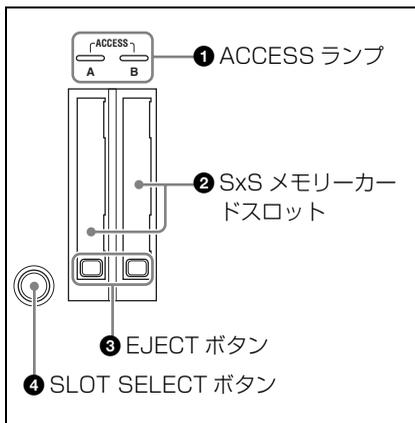
⑦ REC (記録) ボタンとインジケーター

押すと、SxS メモリーカードへの記録が始まります。

ボタン上部のインジケーターは、記録が正常に動作している場合に点灯し、入力信号のビデオフォーマットと本機のビデオフォーマットの設定が異なる場合や、記録が正常に行われていない場合に点滅します。

⑥ カードスロット部

- ◆ SxS メモリーカードについては、「SxS メモリーカードの取り扱い」(39 ページ) をご覧ください。



① ACCESS (アクセス) ランプ

SxS メモリーカードをカードスロットに差し込むと、このランプが赤く点灯し、使用可能な状態になると緑で点灯します。A と B のカードスロットの状態を示すために、それぞれのスロットに ACCESS ランプがあります。

② SxS メモリーカードスロット

SxS メモリーカードを差し込みます。

③ EJECT (SxS メモリーカード取り出し) ボタン

SxS メモリーカードを取り出すときに、各ボタンを押してロックを解除し、このボタンを引き出します。もう一度このボタンを押し込むと、メモリーカードを取り出すことができます。

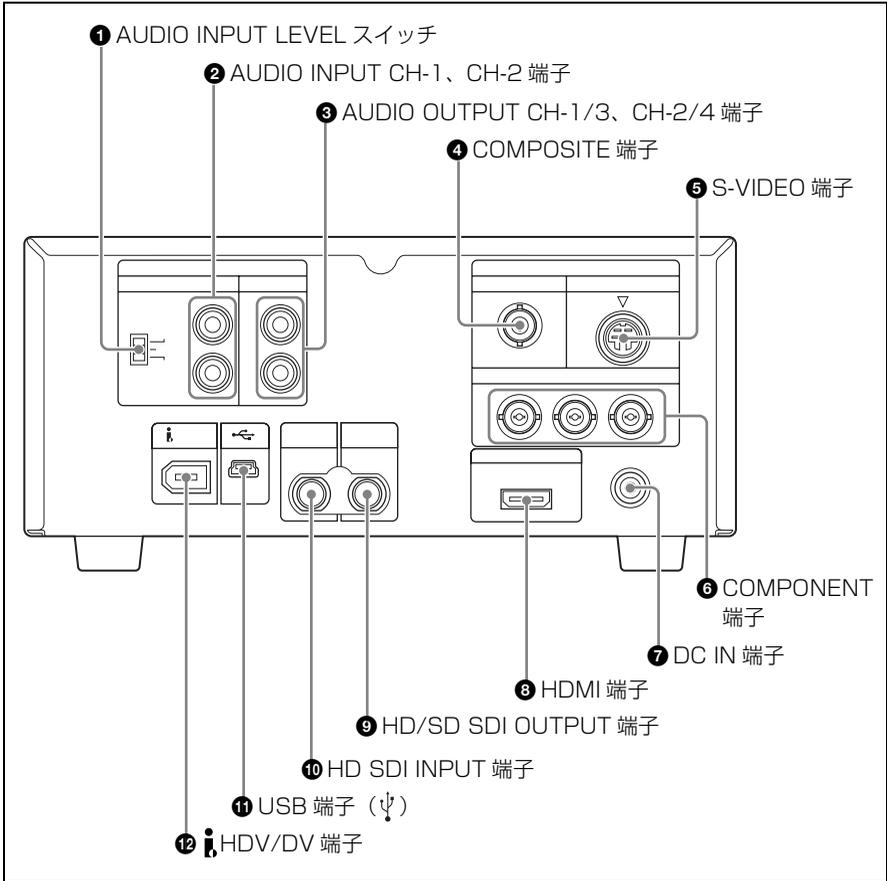
④ SLOT SELECT (SxS メモリーカード選択) ボタン

カードスロット A と B の両方に SxS メモリーカードが装着されているときに、このボタンを押して使用するカードを切り換えることができます。

ご注意

再生中は、SLOT SELECT ボタンが無効になります。ボタンを押しても切り替わりません。ただし、サムネイル画面が表示されている場合は、ボタン操作が有効です。

後面パネル



① AUDIO INPUT LEVEL (オーディオ入力レベル) スイッチ

AUDIO INPUT CH-1、CH-2 端子に接続する機器のオーディオ端子に応じて、オーディオ入力レベルを設定します。

XLR 端子の場合： + 4 または - 2 に設定します。

ピンジャックの場合： - 10 に設定します。

スイッチの設定と入力可能な最大オーディオレベルの関係は、次のとおりです。

設定	オーディオレベル
- 10	+ 10 dBu
- 2	+ 18 dBu
+ 4	+ 24 dBu

② AUDIO INPUT CH-1、CH-2 (オーディオ入力チャンネル 1、2) 端子 (ピンジャック)

アナログオーディオ信号を、CH-1、CH-2 端子のそれぞれに入力します。AUDIO INPUT LEVEL スイッチで、入力レベルを - 10 / - 2 / + 4dBu に設定できます。

③ AUDIO OUTPUT CH-1/3、CH-2/4 (オーディオ出力チャンネル 1/3、2/4) 端子 (ピンジャック)

アナログオーディオ信号を、CH-1/3 端子、CH-2/4 端子から出力します。出力するチャンネルを選択するには、AUDIO SET メニューの Audio Output で、Monitor CH (97 ページ参照) および Output CH (97 ページ参照) の設定を変更します。

ご注意

E-E モード / 記録時はチャンネル 1、2 のみ出力されます。(4 チャンネル素材の再生時にチャンネル 3、4 の選択が可能です。)

④ COMPOSITE (コンポジット) 端子 (BNC 型)

ダウンコンバートした SD アナログコンポジットビデオ信号を出力します。

VIDEO SET メニューの CMPST / S Out Display (98 ページ参照) を On に設定すると、この端子からの出力信号に、液晶ディスプレイに表示されるのと同じ文字情報をスーパーインポーズ (重ねて表示) することができます。

⑤ S-VIDEO (S ビデオ) 端子 (ミニ DIN 4 ピン)

Y/C 分離信号を出力します。

VIDEO SET メニューの CMPST / S Out Display (98 ページ参照) を On に設定すると、この端子からの出力信号に、液晶ディスプレイに表示されるのと同じ文字情報をスーパーインポーズ (重ねて表示) することができます。

⑥ COMPONENT (コンポーネント) 端子 (BNC 型)

Y、Pb/B - Y、Pr/R - Y 端子から、HD アナログコンポーネント信号またはダウンコンバートした SD アナログコンポーネント信号を出力します。出力されるビデオ信号のフォーマットは、VIDEO SET メニューの HDMI / CMPNT / SDI Out SEL (98 ページ参照) で選択します。

VIDEO SET メニューの HDMI/ CMPNT/SDI Out DISP (98 ページ参照) を On に設定すると、この端子からの出力信号に、液晶ディスプレイに表示されるのと同じ文字情報をスーパーインポーズ（重ねて表示）することができます。

ご注意

VIDEO SET メニューの iLINK I/O Select (99 ページ参照) を DVCAM に設定しているときは、出力フォーマットは自動的に 480i (576i) に固定されます。

⑦ DC IN (DC 電源入力) 端子 (3 ピン、Type4)

付属の AC アダプター MPA-AC1 からの DC 電源ケーブルを接続します。

⑧ HDMI 端子 (Type A 19 ピン)

出力されるビデオ信号のフォーマットは、VIDEO SET メニューの HDMI/ CMPNT/SDI Out SEL (98 ページ参照) で選択します。

VIDEO SET メニューの HDMI/ CMPNT/SDI Out DISP (98 ページ参照) を On に設定すると、この端子からの出力信号に、液晶ディスプレイに表示されるのと同じ文字情報をスーパーインポーズ（重ねて表示）することができます。

ご注意

VIDEO SET メニューの iLINK I/O Select (99 ページ参照) を DVCAM に設定しているときは、出力フォーマットは自動的に 480i (576i) に固定されます。

⑨ HD/SD SDI OUTPUT (HD/SD SDI 出力) 端子 (BNC 型)

HDSDI 信号またはダウンコンバートした SDDS DI 信号を出力します。SDI 信号には音声信号とタイムコード信号が重畳されています。

出力されるビデオ信号のフォーマットは、VIDEO SET メニューの HDMI/ CMPNT/SDI Out SEL (98 ページ参照) で選択します。

VIDEO SET メニューの HDMI/ CMPNT/SDI Out DISP (98 ページ参照) を On に設定すると、この端子からの出力信号に、液晶ディスプレイに表示されるのと同じ文字情報をスーパーインポーズ（重ねて表示）することができます。

ご注意

VIDEO SET メニューの iLINK I/O Select (99 ページ参照) を DVCAM に設定しているときは、出力フォーマットは自動的に 480i (576i) に固定されます。

⑩ HD SDI INPUT (HDSDI 入力) 端子 (BNC 型)

HDSDI 信号を入力します。

ご注意

本機のビデオフォーマットと入力信号のビデオフォーマットが異なる場合は、記録/E-E 画像を表示することはできません。本機のビデオフォーマットと一致する信号を入力してください。

⑪ USB 端子 (ψ) (ミニ Type B)

コンピューターを接続して、本機に装着された SxS メモリーカードのデータにアクセスするために使用します。

ご注意

USB ケーブルご使用の際は、輻射ノイズによる誤動作を防ぐため、同梱のケーブルを使用してください。

12 **i.LINK (HDV/DV CAM 入力) 端子 (6 ピン、IEEE1394、S400)**

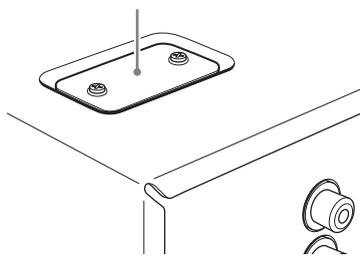
HDV フォーマットのデジタルビデオ / オーディオ信号の入出力と、ダウンコンバートした DVCAM 信号の出力が可能です。出力信号のフォーマットは、VIDEO SET メニューの i.LINK I/O Select (99 ページ参照) で選択します。DVCAM 出力を選択しているときは、VIDEO SET メニューの HDMI/COMPNT/SDI Out DISP (98 ページ参照) を On に設定すると、この端子からの出力に液晶ディスプレイに表示されているのと同じ文字情報をスーパーインポーズ (重ねて表示) することができます。

ご注意

- 6 ピン型の HDV/DV 端子を持つ機器と本機を i.LINK ケーブルで接続する場合、i.LINK ケーブルを抜き差しするときは、あらかじめ機器の電源を切って電源プラグをコンセントから抜いてください。機器の電源プラグを差したまま i.LINK ケーブルを抜き差しすると、機器の HDV/DV 端子から出力している高圧電流 (8 ~ 40V) が本機に流れ込み、本機の故障の原因となる恐れがあります。
- 6 ピン型の HDV/DV 端子を持つ機器と本機を接続する場合は、機器の 6 ピン型の HDV/DV 端子から先に接続してください。

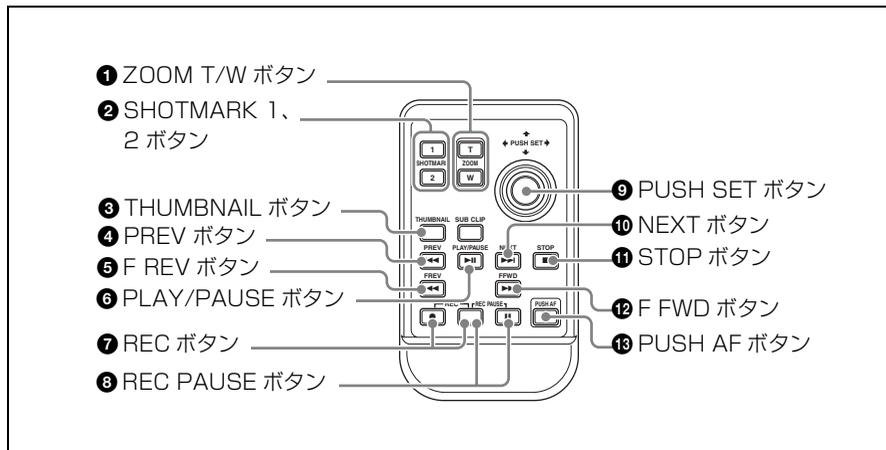
上面パネル**USB 端子**

ふたを開けると USB 端子があります。バージョンアップに使用します。



赤外線リモートコマンダー（付属）

- ◆ 赤外線リモートコマンダーを使うときは、「赤外線リモートコマンダー（付属）を使う」（49ページ）をご覧ください。



① ZOOM T/W（ズーム）ボタン

本機では機能しません。

② SHOTMARK（ショットマーク） 1、2 ボタン

記録中または再生中に押すと、ショットマーク1またはショットマーク2が記録されます。

③ THUMBNAIL（サムネイル）ボタ ン

本体の THUMBNAIL ボタン（17ページ参照）と同じ機能です。

④ PREV（逆方向クリップジャンプ） ボタン

本体の PREV ボタン（22ページ参照）と同じ機能です。

⑤ F REV（逆高速再生）ボタン

本体の F REV ボタン（22ページ参照）と同じ機能です。

⑥ PLAY/PAUSE（再生 / 一時停止） ボタン

本体の PLAY/PAUSE ボタン（23ページ参照）と同じ機能です。

⑦ REC（記録）ボタン

● ボタンと無印のボタン（誤操作防止ボタン）を同時に押すと、記録を開始します。

⑧ REC PAUSE（記録一時停止）ボ タン

■ ボタンと無印のボタン（誤操作防止ボタン）を同時に押すと、記録を停止します。

⑨ PUSH SET (選択 / 確定) ボタン

本体の **↑**、**↓**、**←**、**→** ボタン (29 ページ参照) および SET ボタン (17 ページ参照) と同じ機能です。

⑩ NEXT (クリップジャンプ) ボタン

本体の NEXT ボタン (22 ページ参照) と同じ機能です。

⑪ STOP (停止) ボタン

実行中の再生が停止します。本機は E-E モードになります。

ご注意

記録を停止することはできません。記録を停止するときは、REC PAUSE ボタンを使用してください。

⑫ F FWD (高速再生) ボタン

本体の F FWD ボタン (23 ページ参照) と同じ機能です。

⑬ PUSH AF (ワンプッシュオートフォーカス) ボタン

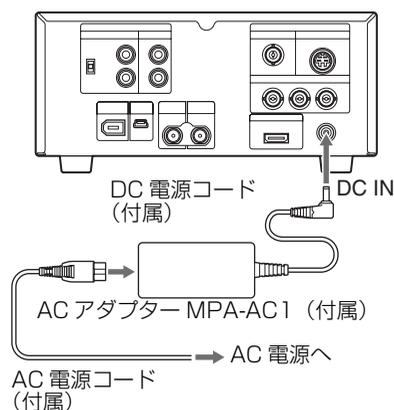
本機では機能しません。

本機を起動する

本機を初めて使用するときは、本機を起動したときに初回設定が必要です（30ページ参照）。

電源に接続する

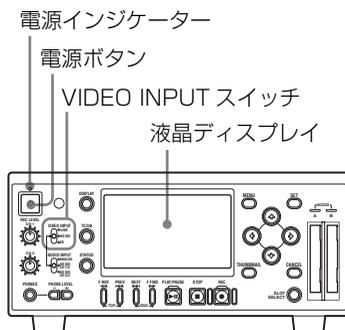
付属の AC アダプター MPA-AC1 を使用して、AC 電源に接続します。



本機に電源が供給されると、前面パネルの電源インジケータが赤く点灯します。（本機はスタンバイ状態になります。）

起動する

本機を起動するには、電源インジケータが赤く点灯した状態（スタンバイ状態）で電源ボタンを押します。



ご注意

起動中は、COMPONENT 端子、COMPOSITE 端子、S-VIDEO 端子、HDMI 端子、HD/SD SDI OUTPUT 端子、i HDV/DV 端子からの出力信号は出力されません。

本機の起動が完了すると、電源インジケータが緑に点灯します。

液晶ディスプレイに初回設定画面が表示されたときは

次の状況では、液晶ディスプレイに初回設定画面が表示されます。

- 本機を初めて起動した。

- 動作電源が供給されていない（AC電源が接続されていない）状態で、バックアップ電池の消耗などにより現在の時刻の情報が失われた場合に、そのまま電源を再接続して起動した。
- ◆ 初回設定について詳しくは、「時計を合わせる」（31ページ）をご覧ください。

で注意

初回設定画面が表示されている状態では、この画面での設定が完了するまで電源を切る以外の操作はできません。

初回設定画面が表示されない場合や初回設定が完了すると、液晶ディスプレイは次の状態になります。

本機に SxS メモリーカードが入っていないとき：VIDEO INPUT スイッチで選択されているビデオ信号の画像が表示されます。ただし、VIDEO INPUT スイッチで選択されているビデオ信号が本機に入力されていない場合は、青または黒の画面になります。

本機にアクセス可能な SxS メモリーカードが入っているとき：メモリーカードに記録された、再生可能なクリップの代表画のサムネイル一覧（サムネイル画面）が表示されます。

電源を切るには

電源ボタンをもう一度押します。電源インジケーターが、赤く点灯した状態（スタンバイ状態）になります。スタンバイ状態を解除するには、AC電源への接続（30ページ参照）を外します。

時計を合わせる

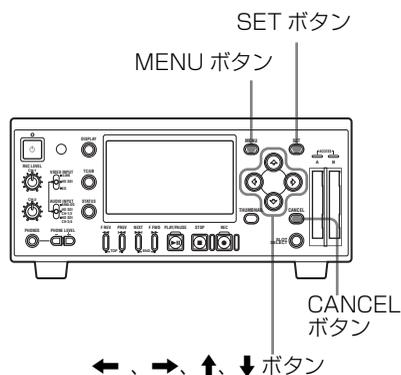
液晶ディスプレイに初回設定画面が表示されたときは、この画面を使用して内蔵時計の日付 / 時刻を設定してください。



Time Zone（タイムゾーン）について

UTC（協定世界時）からの時差を設定します。必要に応じて変更してください（30ページ参照）。

Date/Time（日付 / 時刻）を設定するには



- 1 ↑、↓ ボタンを押して Date/Time にカーソルを合わせ、SET ボタンを押す。

カーソルが年の設定エリアに移動します。

```
INITIAL SETTING
Time Zone: UTC +09:00 TOKYO
Date/Time: 2008/01/01 00:00:00 SET
Finish
```

- 2 **↑、↓** ボタンを押して年を設定し、
←、→ ボタンを押す。
カーソルが月の設定エリアに移動します。
- 3 年と同様に、月、日、時、分、秒の順で設定する。
- 4 カーソルをSETに合わせてSETボタンを押す。
カーソルがDate/Timeに戻ります。
- 5 **↑、↓** ボタンを押してカーソルをFinishに合わせて、SETボタンを押す。
設定画面が消え、時計合わせが完了します。

タイムゾーンと日付/日時の設定は、OTHERSメニューのTime Zone (101ページ) およびClock Set (102ページ) を使用して、後で変更することができます。

液晶ディスプレイを調整する

液晶ディスプレイは、使用状況に合わせて角度や明るさ、色の濃さなどを、見やすいように調整することができます。明るさなどを変えても、記録される映像に影響はありません。

色の濃さ、コントラスト、明るさを調整するには

LCD SET メニューを使用して調整できます。

MENU ボタンを押してメニューアイコンを表示します。LCD SET メニューアイコンでLCD SET メニューを表示し、**←、→、↑、↓** ボタンを使って、メニューからLCDを選択します。

LCD SET メニューアイコン



目的の項目を設定します。

Color : 色の濃さ

Contrast : コントラスト

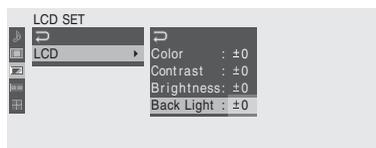
Brightness : 明るさ

- ◆ メニュー操作について詳しくは、「セットアップメニューの基本操作」(94ページ)をご覧ください。

バックライトの明るさを調整するには

LCD SET メニューを使用して、バックライトの明るさを調整できます。

LCD SET メニューから LCD を選択し、Back Light を設定します。



ビデオフォーマットと入 / 出力信号

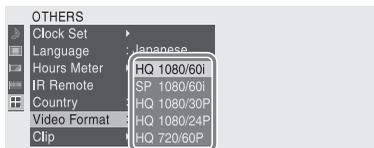
本機で使用するビデオフォーマットは、OTHERS メニューの Video Format で設定します。本機で記録を行うときは、本機のビデオフォーマットの設定に適合する入力信号を接続する必要があります。記録、E-E モード時に本機から出力される信号の種類とフォーマットは、入力信号フォーマットと VIDEO SET メニューの HDMI/CMPNT/SDI Out SEL の設定に応じて変わります。また、本機で再生を行うときは、SxS メモリーカードに記録されたクリップのビデオフォーマットと VIDEO SET メニューの HDMI/CMPNT/SDI Out SEL の設定に応じて、本機から出力される信号のフォーマットが変わります。

Video Format の設定		入力信号フォーマット
NTSC	HQ 1080/60i	1080/59.94i
	SP 1080/60i	
	HQ 1080/30P	1080/29.97PsF
	HQ 1080/24P	1080/23.98PsF
	HQ 720/60P	720/59.94P
PAL	HQ 1080/50i	1080/50i
	SP 1080/50i	
	HQ 1080/25P	1080/25PsF
	HQ 720/50P	720/50P

ビデオフォーマットを設定する

ビデオフォーマットは、ビットレート (HQ/SP) と有効ライン数、フレームレート、スキャン方式 (i/P) の組み合わせで表示します。

OTHERS メニューの Video Format で、希望のビデオフォーマットを選択します。



選択可能なビデオフォーマット

選択可能なビデオフォーマットは、OTHERS メニュー Country の設定によって異なります。

Country の設定が NTSC Area の場

合：HQ 1080/60i、SP 1080/60i、HQ 720/60P、HQ 1080/24P、HQ 1080/30P

Country の設定が PAL Area の場合：

HQ 1080/50i、SP 1080/50i、HQ 720/50P、HQ 1080/25P

ご注意

記録、再生中にビデオフォーマットの設定を変更することはできません。

OUTPUT 端子、HDMI 端子から出力されるデジタル信号を、ビデオフォーマットに応じた HD 信号にするか、ダウンコンバートされた SD 信号にするかを選択できます。

入力信号または再生するクリップのビデオフォーマットと HDMI/CMPNT/SDI Out SEL の設定に対応する、

COMPONENT 端子、HD/SD SDI

OUTPUT 端子、HDMI 端子の出力信号フォーマットを 36 ページと 37 ページに示します。

i HDV/DV 端子の出力信号フォーマットは次のとおりです。

VIDEO SET メニューの i.LINK I/O Select が HDV に設定されている場合

ビデオフォーマット	出力信号フォーマット
NTSC SP1080/60i	1080/59.94i
PAL SP1080/50i	1080/50i

VIDEO SET メニューの i.LINK I/O Select が DVCAM に設定されている場合 (再生時のみ)

ビデオフォーマット		出力信号フォーマット
NTSC	HQ1080/60i	480/59.94i
	SP1080/60i	
	SP1080/24P	
	HQ1080/30P	
	HQ720/60P	
	HQ720/30P	
PAL	HQ1080/50i	576/50i
	SP1080/50i	
	SP1080/25P	
	HQ1080/25P	
	HQ720/50P	
	HQ720/25P	

ご注意

i HDV/DV 端子に HDV フォーマットの信号を入力するときは、次の点にご注意ください。

- 本機のビデオフォーマットを SP 1080/60i (Country の設定が NTSC Area の場合) または SP 1080/50i (Country の設定が PAL Area の場合) に設定してください。(これ以外の設定で、HDV フォーマットの信号を入力することはできません。)

- ジッター成分の大きい信号 (PC 出力など) を **i** HDV/DV 端子に入力すると、HD/SD SDI OUTPUT 端子および HDMI 端子の出力映像や音声にノイズが入ったり、信号が正常に出力されないことがあります。
- HDMI/CMPNT/SDI Out SEL の設定を 480P (576P) にすると、HD/SD SDI OUTPUT 端子から信号が出力されません。

記録 /E-E モード時

Video Format の設定		出力信号フォーマット			
		HDMI/CMPNT/SDI Out SEL の設定 ^{a)}			
		1080i/720P	1080i	480i (576i) ^{b)}	480P (576P) ^{b) c)}
NTSC	HQ 1080/60i SP 1080/60i	1080/59.94i		480/59.94i	480/59.94P
	HQ 1080/30P	1080/29.97PsF			
	HQ 1080/24P	1080/23.98PsF ^{d)}	1080/59.94i		
	HQ 720/60P	720/59.94P	1080/59.94i		
PAL	HQ 1080/50i SP 1080/50i	1080/50i		576/50i	576/50P
	HQ 1080/25P	1080/25PsF		576/25PsF	
	HQ 720/50P	720/50P	1080/50i	576/50i	

a) VIDEO SET メニューの iLINK I/O Select が DVCAM に設定されている場合、HDMI/CMPNT/SDI Out SEL は無効となり、設定は 480i (576i) に固定されます。

b) OTHERS メニューの Country を NTSC Area に設定している場合は 480i、PAL Area に設定している場合は 576i

c) このフォーマットの場合、HD/SD SDI OUTPUT 端子からは信号が出力されません。

d) HDMI 端子からは信号が出力されません。

再生時

() 内は、本機を NTSC のビデオフォーマットに設定して PAL のビデオフォーマットで記録されたクリップを再生したり、本機を PAL のビデオフォーマットに設定して NTSC のビデオフォーマットで記録されたクリップを再生した場合（簡易再生）の出力フォーマットです。簡易再生時、HD 信号は COMPONENT 端子からのみ出力されます。

クリップのビデオフォーマット		出力信号フォーマット			
		HDMI/CMPNT/SDI Out SEL の設定 ^{a)}			
		1080i/720P	1080i	480i (576i) ^{b)}	480P (576P) ^{b) c)}
NTSC	HQ 1080/60i SP 1080/60i SP 1080/24P	1080/59.94i (1080/49.95i)		480/59.94i (576/49.95i)	480/59.94P (576/50P)
	HQ 1080/30P	1080/29.97PsF (1080/49.95i)			
	HQ 1080/24P	1080/23.98PsF ^{d)} (1080/49.95i)	1080/59.94i (1080/49.95i)		
	HQ 720/60P HQ 720/30P HQ 720/24P	720/59.94P (720/49.95i)	1080/59.94i (1080/49.95i)		
PAL	HQ 1080/50i SP 1080/50i	1080/50i (1080/60i)		576/50i (480/60i)	576/50P (480/60P)
	HQ 1080/25P	1080/25PsF (1080/60i)			
	HQ 720/50P	720/50P (720/60P)	1080/50i (1080/60i)		
	HQ 720/25P	720/25PsF (720/60P)			

- a) VIDEO SET メニューの iLINK I/O Select が DVCAM に設定されている場合、HDMI/CMPNT/SDI Out SEL は無効となり、設定は 480i (576i) に固定されます。
- b) OTHERS メニューの Country を NTSC Area に設定している場合は 480i、PAL Area に設定している場合は 576i
- c) このフォーマットの場合、HD/SD SDI OUTPUT 端子からは信号が出力されません。
- d) HDMI 端子からは信号が出力されません。

本機で扱えるタイムデータ

タイムデータを活用して、時間情報の確認や編集時の精度確保、複数機器の同期などを容易に行うことができます。

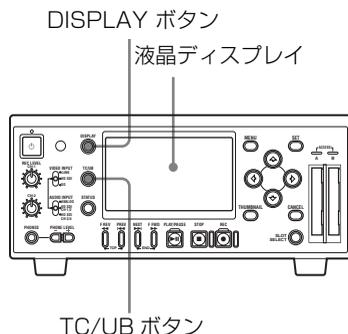
本機では、HDSDI 信号または内蔵テスト信号の記録時に、タイムコードおよびユーザービットを任意に設定することが可能です。

i HDV/DV 端子から入力される HDV 信号の記録時は、入力信号に重畳されたタイムコードおよびユーザービットがそのまま記録されます。

記録/E-E モード時および再生時は、TC/UB ボタンの選択に応じて、タイムコードまたはユーザービットがモニター画面に表示されます。

タイムデータを表示する

モニター画面にタイムデータを表示するには、DISPLAY ボタンを押します。



タイムデータ表示を切り換えるには

TC/UB ボタンを押します。

ボタンを押すたびに、モニター画面上のタイムデータ種別表示（20 ページ参照）が次のように切り換わります。

記録/E-E モード時

TCG：タイムコードジェネレーターが発生しているタイムコード

UBG：タイムコードジェネレーターが発生しているユーザービット

再生時

TCR：タイムコードリーダーが読み取ったタイムコード

UBR：タイムコードリーダーが読み取ったユーザービット

ご注意

i HDV/DV 端子から入力される HDV 信号の記録時は、入力信号に重畳されたタイムコードおよびユーザービットがそのまま記録されるため、モニター画面の表示は TCR または UBR となります。



SxS メモリーカードの取り扱い

本機では、記録した映像・音声を、カードスロット内の SxS メモリーカード（別売）に記録します。

SxS メモリーカードについて

本機で使用可能な SxS メモリーカード

本機では、ソニー製 SxS PRO または SxS-1 メモリーカードをご使用ください。

SxS PRO

- SBP-8 (8GB)
- SBP-16 (16GB)
- SBP-32 (32GB)

SxS-1

- SBS-32G1 (32GB)
- SBS-32G1A (32GB)
- SBS-64G1A (64GB)

SxS PRO または SxS-1 以外のメモリーカードをご使用の場合、動作の保証はいたしかねます。

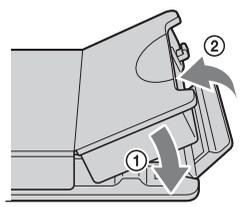
これらのメモリーカードは、ExpressCard 規格に準拠したメモリーカードです。

- SxS、SxS PRO および SxS-1 はソニー株式会社の商標です。

- ExpressCard ワードマークとロゴは、Personal Computer Memory Card International Association (PCMCIA) の所有であり、ソニーへライセンスされています。他のトレードマークおよびトレード名称については、個々の所有者に帰属します。

SxS メモリーカード使用上のご注意

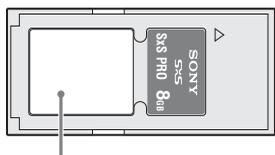
- 下記の場合、記録したデータが破壊（消滅）されることがあります。
 - 読み込み中、書き込み中、またはフォーマット中に SxS メモリーカードを抜いたり、振動、衝撃を与えたり、機器の電源を切った場合
 - 静電気や電氣的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- 以下のような場所でのご使用や保存はしないでください。
 - 使用条件範囲以外の場所
 - 炎天下や夏場の窓を閉め切った車の中 / 直射日光のあたる場所 / 熱器具の近くなど
 - 湿気が多い場所や腐食性のある場所
- ご使用の場合は、正しい挿入方向をご確認ください。
- SxS メモリーカードの保管時および携帯時は、専用ケースに入れて確実にロックしてください。



- SxS メモリーカードに保存しているデータは、万一の故障によるデータの損失に備えて、バックアップを取って

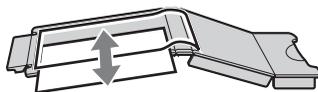
おいてください。SxS メモリーカードに保存したデータの損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- ラベルシートの貼り付け部以外には専用ラベルシートを貼らないでください。専用ラベルシートを貼るときは、所定のラベルシート貼り付け部に、はみ出さないように貼ってください。



専用ラベルシート貼り付け部

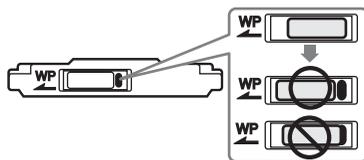
- 本機で使用するSxSメモリーカードは、本機のフォーマット機能を使用してフォーマットしてください。他の機器でフォーマットした場合は、異なるフォーマットとみなされ、本機で再度フォーマットする必要があります。(本機の機能による「フォーマット」や「削除」では、カード内のデータは完全には消去されません。譲渡／廃棄の際は、市販のデータ消去専用ソフトを使用するか、カードを物理的に破壊するなどお客様の責任においてデータの処理をしてください。)
- メディア残量が少ないと、クリップを操作できないときがあります。そのような場合は、コンピューターで不要なファイルを削除してから再度操作を行ってください。
- 専用ケースカードの取り出し・再挿入の際は、専用ケースが完全に開いた状態で行ってください。



誤消去を防止するには

SxSメモリーカードのライトプロテクトスイッチを「WP」側にする、記録や編集、消去ができなくなります。

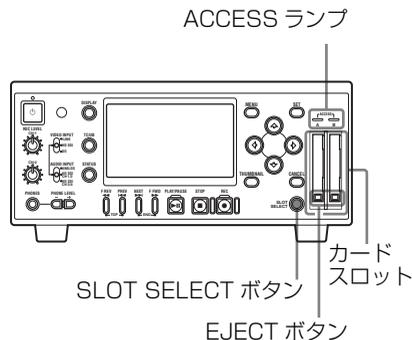
ライトプロテクトスイッチ



で注意

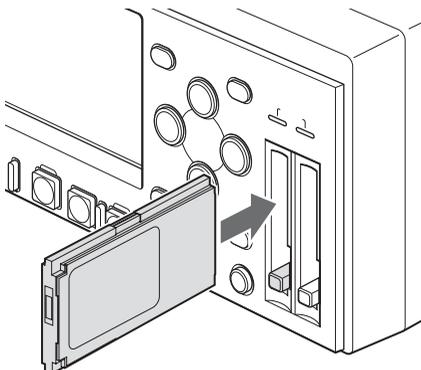
本機に挿入したままで、SxSメモリーカードのライトプロテクトスイッチを操作しないでください。本機から取り出してからスイッチを切り換えてください。

SxSメモリーカードを入れる／取り出す



SxS メモリーカードを入れるには

SxS メモリーカードをカードスロットに差し込みます。



ラベルを右にして差し込む。

ACCESS ランプが赤く点灯し、使用可能な状態になると緑で点灯します。

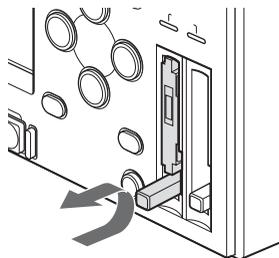
ACCESS ランプによる状態表示

A と B のカードスロットの状態を示すために、それぞれのスロットに ACCESS ランプがあります。

ランプ	スロットの状態
赤で点灯	装着されている SxS メモリーカードにアクセス中（データの書き込み / 読み出し中）
緑で点灯	スタンバイ状態（装着されている SxS メモリーカードを使用して記録・再生を行います。）
消灯	<ul style="list-style-type: none"> ・ SxS メモリーカードが装着されていない。 ・ 使用できないカードが装着されている ・ SxS メモリーカードは装着されているが、別のスロットのカードが選択されている。

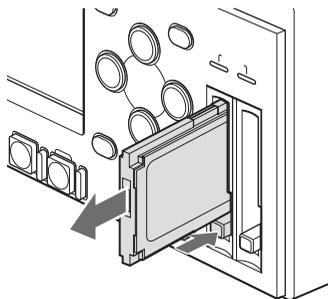
SxS メモリーカードを取り出すには

- 1 EJECT ボタンを押してロックを解除し、ボタンを引き出す。



1 度 EJECT ボタンを押して、ロックを解除する。

- 2 もう一度 EJECT ボタンを押し込んでカードを抜く。



ご注意

- ・ メモリーカードにアクセス中に本機の電源を切ったりメモリーカードを抜いた場合はデータは保証されません。カードに記録されたすべてのデータが壊れる可能性があります。電源を切ったり、カードを抜くときは、必ず ACCESS ランプが緑で点灯または消灯していることを確認してから操作してください。

- 本機を起動したときに使用可能なメモリーカードが入っていない場合、本機はE-Eモードとなり、VIDEO INPUTスイッチで選択されているビデオ信号の画像を表示します。

使用する SxS メモリーカードを切り換える

カードスロット A と B の両方に SxS メモリーカードが装着されているときは、SLOT SELECT ボタンを押して使用するカードを切り換えることができます。記録実行中に1枚目のカードのメモリーがいっぱいになったときは、自動的にもう1枚のカードに切り替わります。

ご注意

- 再生中は、SLOT SELECT ボタンは無効になります。ボタンを押しても切り替わりません。ただし、サムネイル画面（60 ページ参照）が表示されている場合は、ボタン操作が有効です。
- SLOT SELECT ボタンを押して使用するメディア（別売の SxS メモリーカード、プロフェッショナルハードディスクユニット PHU-120R、メディアアダプター MEAD-MS01/SD01）を切り換えた直後は、SLOT SELECT ボタンの機能が無効になります。再びメディアを切り換えるときは、数秒経ってから SLOT SELECT ボタンを押してください。

SxS メモリーカードをフォーマット（初期化）する

フォーマットされていない SxS メモリーカード、または別の仕様でフォーマットされた SxS メモリーカードを装着すると、フォーマットを実行するかどうかを確認するメッセージが液晶ディスプレイに表示されます。

メディアフォーマットについてのご注意

本機でフォーマットした SxS メモリーカード以外は使用できません。

フォーマット（初期化）を実行するには

フォーマット確認メッセージが表示されたら、**↑**、**↓** ボタンを押して「実行」(Execute) を選択し、SET ボタンを押します。

フォーマットが始まり、実行中メッセージと進捗状況 (%) が表示され、ACCESS ランプが赤く点灯します。フォーマットが終了すると、完了メッセージが3秒間表示されます。

フォーマット実行中の記録・再生

一方の SxS メモリーカードをフォーマット中でも、もう一方のカードスロットに装着した SxS メモリーカードを使用して記録・再生が可能です。

フォーマットできなかったときは

プロテクトされた SxS メモリーカードや本機で使用できないメモリーカードはフォーマットされません。

警告メッセージが表示されますので、メッセージに従って、使用できる SxS メモリーカードに交換してください。

メニュー操作でフォーマット (初期化) するには

フォーマット指示メッセージが表示されていないときは、OTHERS メニューの Format Media (105 ページ参照) を使って、同様の手順でフォーマットを実行することができます。

ご注意

- メモリーカードをフォーマットすると、記録された映像データ、セットアップファイルなどを含む、すべてのデータが消去されます。
- 本機で使用する SxS メモリーカードは、本機のフォーマット機能を使用してフォーマットしてください。他の機器でフォーマットした場合は、異なるフォーマットとみなされ、本機でもう一度フォーマットする必要があります。

残りの記録可能時間を確認する

記録/E-E モード時には、液晶ディスプレイ上の記録メディア残量表示で、各スロットに装着した SxS メモリーカードの残量を確認することができます。



現在設定されているビデオフォーマット(記録ビットレート)で記録した場合に

記録可能な時間を、各スロット内のメディア残量から計算して分単位で表示します。

リモート/メディアステータス画面(92 ページ)を表示して、メディア残量をメーター表示で確認することもできます。

ご注意

メモリーカードがプロテクトされている場合は、マークが表示されます。

SxS メモリーカードの交換時期

- 記録中に2枚のメモリーカードの残記録可能時間の合計が5分を下回ると、警告メッセージ「メディア残量がわずかです」(Media Near Full)が表示されます。
空きのあるメモリーカードに交換してください。
- 記録を継続して、残記録可能時間の合計が0になると、メッセージが「メディア残量がありません」(Media Full)に変わり、記録が停止します。

ご注意

1枚の SxS メモリーカードに約 600 個までのクリップを記録できます。

記録できるクリップ数の上限に達すると、残記録可能時間の表示が「0」になり、メッセージ「メディア残量がありません」(Media Full)が表示されます。

SxS メモリーカードを修復する

何らかの原因でメモリーカード内のデータに異常が発生した場合は、メモリーカードの修復が必要になります。

修復が必要な SxS メモリーカードを挿入したときは、修復を実行するかどうかを確認するメッセージが液晶ディスプレイに表示されます。

修復を実行するには

修復確認メッセージが表示されたら、**↑**、**↓** ボタンを押して「実行」(Execute) を選択し、SET ボタンを押します。

修復が始まります。

実行中メッセージと進捗状況 (%) が表示され、ACCESS ランプが赤く点灯

修復が終了すると、完了メッセージが3秒間表示されます。

修復できなかったときは

- プロテクトされた SxS メモリーカードや、エラーが発生した SxS メモリーカードは修復できません。警告メッセージが表示されますので、メッセージに従って、プロテクトを解除するか、別の SxS メモリーカードに交換してください。
- エラーが発生した SxS メモリーカードは、フォーマットをし直すと再利用できる場合があります。
- 一部のクリップのみ修復できない場合があります。修復できたクリップは再生可能になります。

修復中の記録・再生

一方の SxS メモリーカードを修復中でも、もう一方のカードスロットに装着し

た SxS メモリーカードを使用して、記録・再生が可能です

ご注意

本機で記録されたメディアは、本機で修復してください。

本機以外で記録されたメディアや、本機と同一機種であってもバージョンが異なる機器で記録されたメディアは、本機で修復できない場合があります。

外部ハードディスクを使う

本機では、別売のプロフェッショナルハードディスクユニット PHU-120R を使用できます。

ご注意

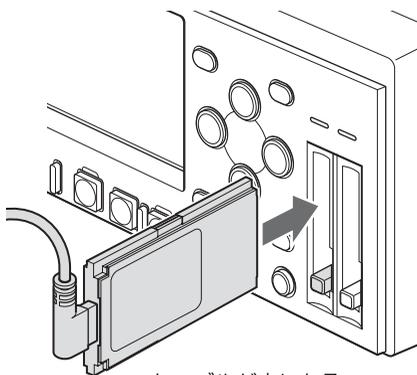
- PHU-120R を使って高速再生を行う場合、正しく動作しないことがあります。
- PHU-120R のモードセレクトスイッチを「60GB × 2」に設定してください。

PHU-120R を取り付ける ／取りはずす

PHU-120R の接続ケーブルを SxS メモリーカードスロットに接続することによって、SxS メモリーカード使用時と同様に記録／再生が行えます。

PHU 接続ケーブルを接続するには

- 1 次図に示すように PHU 接続ケーブルをカードスロットに差し込む。



ケーブルが上になるように差し込む。

2 PHU-120R の電源を入れる。

PHU-120R 本体の POWER インジケーターが緑色で点灯します。続いて本機の ACCESS ランプが赤く点灯し、使用可能な状態になると緑で点灯します。

PHU 接続ケーブルを取りはずすには
SxS メモリーカードを取り出すときと同様に操作してください。

PHU-120R をフォーマット （初期化）する

PHU-120R 挿入時にフォーマットするには

フォーマットされていない PHU120R、または別の仕様でフォーマットされた PHU-120R を挿入したとき、挿入したままで電源を入れたとき、および挿入したままで USB 接続状態（マスタストレージモード）を解除したときに、フォーマット

トを実行するかどうかを確認するメッセージがモニター画面に表示されます。メッセージが表示されたら、**↑**、**↓** ボタンを押して「実行」(Execute) を選択し、SET ボタンを押します。

ご注意

- 他の情報を設定しているときはフォーマットを実行するかどうかを確認するメッセージは表示されません。
- フォーマットを実行するかどうかを確認するメッセージが表示されているときに他の情報が表示された場合、いったんメッセージは消えます。他の情報が設定終了するとメッセージが再表示されます。

メニュー操作でフォーマットするには

OTHERS メニューの Format Media (105 ページ参照) で、PHU-120R がフォーマット済み、未フォーマット、および未対応のファイルシステムでフォーマットされているかにかかわらず、PHU-120R のフォーマットを実行することができます。

- 1 OTHERS メニューの Format Media を選択する。
- 2 Media(A) (スロット A) または Media(B) (スロット B) を選択する。
- 3 **↑**、**↓** ボタンを押して「実行」(Execute) を選択し、SET ボタンを押す。

フォーマットを実行するかどうかを確認するメッセージが、モニター画面に表示されます。

- 4 **↑**、**↓** ボタンを押して「実行」(Execute) を選択し、SET ボタンを押す。

フォーマットが始まります。実行中メッセージと進捗状況 (%) が表示され、ACCESS ランプが赤く点灯します。フォーマットが終了すると、完了メッセージが3秒間表示されます。

残りの記録可能時間を確認する

SxS メモリーカードの記録可能時間と同様に表示されます。

- ◆ 詳しくは、「残りの記録可能時間を確認する」(43 ページ) をご覧ください。

PHU-120R を修復する

何らかの原因で PHU-120R 内のデータに異常が発生した場合は、ハードディスクの修復が必要になります。修復が必要な PHU-120R を挿入したときは、修復を実行するかどうかを確認するメッセージがモニター画面に表示されます。

修復を実行するには

↑、**↓** ボタンを押して「実行」(Execute) を選択し、SET ボタンを押します。自動的に修復が始まります。実行中メッセージと進捗状況 (%) が表示され、ACCESS ランプが赤く点灯します。修復

が終了すると、完了メッセージが3秒間表示されます。

修復できなかったときは

- エラーが発生した PHU-120R は、フォーマットをし直すと再利用できる場合があります。
- 一部のクリップのみが修復できない場合もあります。修復できたクリップは再生可能になります。

メディアアダプターを使う

本機では、別売のメディアアダプター MEAD-MS01 または MEAD-SD01 を使用することによって、“メモリースティック” (MEAD-MS01 使用時) または SDHC カード (MEAD-SD01 使用時) を SxS メモリーカードスロットに入れて、SxS メモリーカードと同様に記録・再生が行えます。

使用可能な“メモリースティック”

“メモリースティック PRO-HG デュオ”
HXA シリーズ

使用可能な SDHC カード

SDHC カード (SD スピードクラス :
Class10)

- ◆ メディアアダプター MEAD-MS01/SD01 の使いかたについて詳しくは、MEAD-MS01/SD01 の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

“メモリースティック” または SDHC カードを使って高速再生を行う場合、正しく動作しないことがあります。

フォーマット (初期化) する

本機で初めて“メモリースティック” または SDHC カードを使用するときは、フォーマットが必要です。本機で使用する“メモリースティック” または SDHC

カードは、本機のフォーマット機能を使用してフォーマットしてください。“メモリースティック”またはSDHCカードを装着したときに注意メッセージが表示された場合も、フォーマットして使用してください。

本機が対応していないフォーマットで初期化された“メモリースティック”またはSDHCカードを装着すると、モニター画面に「ファイルシステムが異なります」のメッセージが表示されます。下記の「フォーマット（初期化）を実行する」に従ってフォーマットしてください。

フォーマット（初期化）を実行するには

- 1 OTHERS メニューの Format Media (105 ページ参照) を選択する。
- 2 Media(A) (スロット A) または Media(B) (スロット B) を選択する。
- 3 ↑、↓ ボタンを押して「実行」(Execute) を選択し、SET ボタンを押す。

フォーマットを実行するかどうかを確認するメッセージが、モニター画面に表示されます。

- 4 ↑、↓ ボタンを押して「実行」(Execute) を選択し、SET ボタンを押す。

フォーマットが始まります。実行中メッセージと進捗状況 (%) が表示され、ACCESS ランプが赤く点灯します。フォーマットが終了す

ると、完了メッセージが3秒間表示されます。

ご注意

“メモリースティック”またはSDHCカードをフォーマットすると、プロテクトされた画像も含めて、すべてのデータが消去され、復元できません。

本機とコンピューターの接続

XDCAM EX シリーズで記録した“メモリースティック”またはSDHCカードは、本機をUSBでコンピューターに接続して本機側のスロットに装着して使用してください。

本機でフォーマットした“メモリースティック”を“メモリースティック”スロットを持つ他の機器で使用するには

- “メモリースティック”に記録されたデータは、あらかじめバックアップを取ってください。
- バックアップが終わったら、お使いになる機器で“メモリースティック”をフォーマットしなおして使用してください。

本機でフォーマットしたSDHCカードをSDHCカードスロットを持つ他の機器で使用するには

- SDHCカードに記録されたデータは、あらかじめバックアップを取ってください。
- バックアップが終わったら、お使いになる機器でSDHCカードをフォーマットしなおして使用してください。



- Memory Stick (“メモリースティック”) および  MEMORY STICK™ は、ソニー株式会社の商標です。
- Memory Stick PRO-HG Duo (“メモリースティック PRO-HG デュオ”) および MEMORY STICK PRO-HG Duo は、ソニー株式会社の商標です。

赤外線リモートコマンダー（付属）を使う

初めて使用するときは

付属の赤外線リモートコマンダーを初めて使用するときは、電池ホルダーから絶縁シートを引き抜いてください。



ホルダーには工場出荷時にリチウム電池 CR2025 がセットされています。

リモートコマンダーで本機を操作するときは

リモートコマンダー操作機能の有効/無効は、セットアップメニューを使用して切り換えます。

工場出荷時には、リモートコマンダー操作機能が有効になっています。

リモートコマンダー操作機能を無効にするには

MENU ボタンを押してメニューアイコンを表示します。←、→、↑、↓ ボタンを使って、OTHERS メニュー () を選択し、IR Remote を Off にします。有効/無効の設定は、本機の電源を切っても保持されます。



- ◆ メニュー操作について詳しくは、「セットアップメニューの基本操作」(94ページ)をご覧ください。

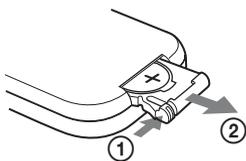
リモートコンマnderの電池を交換するには

リチウム電池の能力が低下すると、ボタンを押しても操作できないことがあります。リチウム電池の寿命は通常約1年ですが、使用頻度によって変わります。

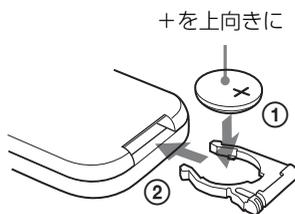
リモートコンマnderのボタンを押しても本機がまったく動作しない場合は、電池を交換し、動作を確認してください。

市販のリチウム電池 CR2025 を使用します。CR2025 以外の電池は使用しないでください。

- 1 ① ロックレバーを押したまま、② 電池ホルダーを引き出し、電池を取りはずす。



- 2 + を上向きにして新しい電池を入れ
①、カチッと音がするまで電池ホルダーを押し込む ②。



ご注意

指定以外の電池に交換すると、破裂する危険があります。

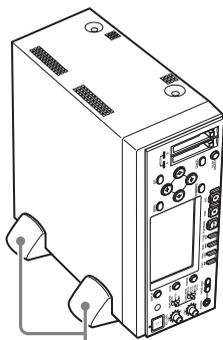
必ず指定の電池に交換してください。

使用済みの電池は、国または地域の法令に従って処理してください。



スタンド（付属）を使う

本機を縦置きするとき、付属のスタンド（2脚）を使用します。



スタンド（付属）

文字情報をスーパーインポーズする

HDMI 端子、COMPONENT 端子、COMPOSITE 端子、S-VIDEO 端子、HD/SD SDI OUTPUT 端子からの出力信号には、タイムコード、メニュー設定、アラームメッセージなどの文字情報をスーパーインポーズ（重ねて表示）することができます。スーパーインポーズされた信号を外部ビデオモニターに入力すると、液晶ディスプレイに表示されるのと同じ情報を外部モニターで確認することができます。

- ◆ 各出力信号を外部モニターに入力する方法については、「外部ビデオモニターを接続する」（78 ページ）をご覧ください。

文字情報の表示をオン / オフする

HDMI 端子、COMPONENT 端子、HD/SD SDI OUTPUT 端子からの出力信号に文字情報をスーパーインポーズするかどうかを選択するには、VIDEO SET メニューの HDMI/CMPNT/SDI Out DISP（98 ページ参照）を使用します。COMPOSITE 端子、S-VIDEO 端子からの出力信号に文字情報をスーパーインポーズするかどうかを選択するには、CMPST/ S Out Display（98 ページ参照）を使用します。

On：文字情報をスーパーインポーズする。

Off : 文字情報をスーパーインポーズしない。

再生時に  HDV/DV 端子から DVCAM フォーマットの信号を出力している場合は、CMPST/ S Out Display で文字情報のスーパーインポーズをオン/オフすることができます。

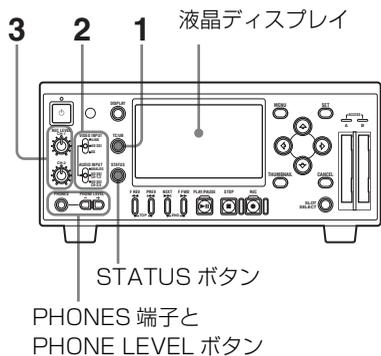
記録

本機では、HD SDI INPUT 端子に入力された HDSDI 信号および i HDV/DV 端子に入力された HDV 信号を、SxS メモリーカードに記録することができます。

で注意

記録を開始する前に、必ず本機のビデオフォーマットを設定してください (34 ページ参照)。

記録時の設定



- 1 TC/UB ボタンで、タイムコードとユーザービットのどちらを使用するか選択する。

ボタンを押すたびに、モニター画面上のタイムデータ種別インジケータの表示がタイムコードとユーザービットで切り換わります。

タイムコード/ユーザービットを設定するには

- ◆ 記録時のタイムコード/ユーザービットの設定については、「第 5 章 タイムデータの設定と記録」(75 ページ)をご覧ください。

- 2 記録するビデオ信号を VIDEO INPUT スイッチで、記録するオーディオ信号を AUDIO INPUT スイッチで選択する。

記録するビデオ信号	VIDEO INPUT スイッチの設定 (モニター画面の入力信号表示)	記録するオーディオ信号	AUDIO INPUT スイッチの設定
HDV/DV 端子に入力された HDV 信号	i.LINK (i.LINK in)	入力された HDV 信号に含まれる 2 チャンネルのデジタルオーディオ信号	—
HD SDI INPUT 端子に入力された HDSDI 信号	HD SDI (HDSDI in)	AUDIO INPUT CH-1、CH-2 端子に入力されたアナログオーディオ信号	ANALOG
		入力された HDSDI 信号に重畳されているデジタルオーディオ信号のチャンネル 1、2	HD SDI CH-1/2
		入力された HDSDI 信号に重畳されているデジタルオーディオ信号のチャンネル 3、4	HD SDI CH-3/4
内部テスト信号 (100% フルカラーバー)	SG (Internal SG)		
内部テスト信号 (100% フルカラーバー)	SG (Internal SG)	1kHz の基準音声信号	AUDIO INPUT スイッチの設定に関わりなく、AUDIO SET メニューの Audio Input で、1KHz Tone を On に設定 (97 ページ参照)

で注意

記録開始後に入力信号を切り換えることはできません。記録中に VIDEO INPUT スイッチの設定を変更した場合、STOP ボタンを押して記録を終了した後でスイッチの設定が有効になります。

3 AUDIO INPUT CH-1、CH-2 端子に入力されたアナログオーディオ信号を記録するときは、接続する機器のオーディオ端子に応じて、AUDIO INPUT LEVEL スイッチを次のように設定する。

XLR 端子の場合： + 4 または - 2 に設定

ピンジャックの場合： - 10 に設定

スイッチの設定と入力可能な最大オーディオレベルの関係は、次のとおりです。

設定	オーディオレベル
- 10	+ 10 dBu
- 2	+ 18 dBu
+ 4	+ 24 dBu

4 モニター画面上のオーディオレベルメーターで、オーディオ入力レベルを確認または調整する。

出荷時の設定では、オーディオ入力レベルはあらかじめ設定された基準レベルに調整されます。VIDEO INPUT スイッチを HD SDI または SG に設定したときは、オーディオ入力レベルを手動で調整することができます。

オーディオ入力レベルを手動で調整するには

AUDIO SET メニューの Audio Input で、Rec Level を Manual に設定し (97 ページ参照)、REC LEVEL CH-1、CH-2 つまみで各チャンネルのオーディオ入力レベルを調整します。

モニター画面に表示されるオーディオレベルメーター (21 ページ参照) を見ながら、最大音量のときにレベルが 0dB を越えないように調整します。0dB を越えると OVER インジケーターが点灯します。

ご注意

i HDV/DV 端子に入力された HDV 信号を記録する場合は、オーディオ入力レベルを手動で調整することはできません。

設定状態を確認するには

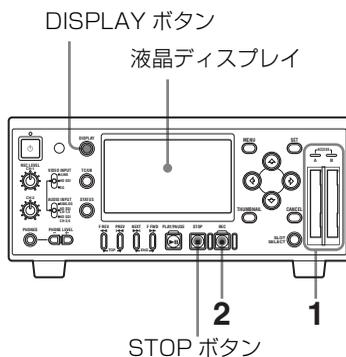
STATUS ボタンを押してステータス画面 (89 ページ参照) を表示し、タイムデータ、ビデオ信号、オーディオ入力レベルの設定を確認することができます。

記録映像 / 音声をモニターするには

HDMI 端子、COMPONENT 端子、COMPOSITE 端子、S-VIDEO 端子、HD/SD SDI OUTPUT 端子および AUDIO OUTPUT CH-1/3、CH-2/4 端子に外部ビデオモニターを接続して (78 ページ参照)、記録映像および音声をモニターすることができます。

また、PHONES 端子にヘッドホンを接続して、記録音声をモニターすることができます。ヘッドホンの音量は、PHONE LEVEL ボタンを押して調整します。

記録する



1 書き込み可能な SxS メモリーカードを入れる (40 ページ参照)。

メモリーカードを2枚入れておくと、1枚目のメモリーカードのメモリーがいっぱいになっても、自動的に2枚目のメモリーカードで記録を続けることができます。

◆ メモリーカードについて詳しくは、「SxS メモリーカードの取り扱い」(39 ページ)をご覧ください。

モニター画面にサムネイル画面（60ページ参照）が表示されが表示されている場合は、STOP ボタンを押してE-Eモードの画面に切り換えます。

2 REC ボタンを押して記録を開始する。

記録が正常に開始されると、REC インジケーターが点灯します。

設定したビデオフォーマットと入力信号のフォーマットが異なっているなどの理由で正常な記録が行われていない場合は、REC インジケーターが点滅します。

記録時の本機の状態を確認するには

DISPLAY ボタンを押します。

- ◆ モニター画面の表示については、「**3** 液晶ディスプレイ」（19ページ）をご覧ください。

記録を終了するには

STOP ボタンを押します。

記録が停止し、本機はE-Eモードになります。

記録を停止すると、開始から停止までの画像・音声と付随データが、1つの「クリップ」としてSxSメモリーカードに記録されます。

- ◆ クリップについて詳しくは、「第4章 クリップの操作」（60ページ参照）をご覧ください。

ショットマークを記録する

映像 / 音声の重要なシーンに、ショットマークをデータとして記録しておく、

マークを付けたシーンだけが表示される「ショットマーク画面」で目的のシーンを容易に頭出しできます。

- ◆ ショットマーク画面については、「ショットマーク画面を表示する」（71ページ）をご覧ください。

本機では、ショットマーク1、ショットマーク2の2種類のショットマークを記録できます。

ショットマークは、記録終了後に再生画像を確認しながら追加することもできます（58ページ参照）。

ショットマークを記録するには

赤外線リモートコマンダーを使用します。

- 1 OTHERSメニューのIR RemoteをOnにして、リモートコマンダーを操作可能にする（102ページ参照）。

- 2 記録を開始し、ショットマークを入りたいシーンでSHOTMARK 1またはSHOTMARK 2 ボタンを押す。



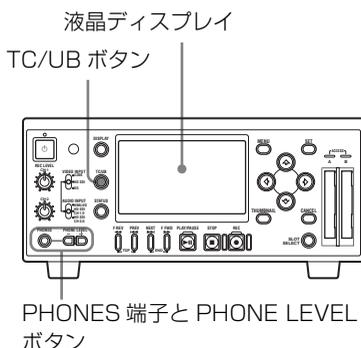
押したボタンに対応するショットマークが記録されます。

再生

SxS メモリーカードには、記録内容が「クリップ」単位で記録されています。ここでは、クリップを記録した順に連続して再生する操作について説明します。

- ◆ クリップについて詳しくは、「第4章 クリップの操作」(60ページ)をご覧ください。

再生時の設定



タイムデータを選択するには

TC/UB ボタンで、タイムコードとユーザービットのどちらを使用するか選択します。ボタンを押すたびに、モニター画面上のタイムデータ種別インジケータの表示がタイムコード (TCR) とユーザービット (UBR) で切り換わります。

再生画 / 再生音をモニターするには

HDMI 端子、COMPONENT 端子、COMPOSITE 端子、S-VIDEO 端子、HD/SD SDI OUTPUT 端子および AUDIO OUTPUT CH-1/3、CH-2/4 端子に外部モニターを接続して (78 ページ参

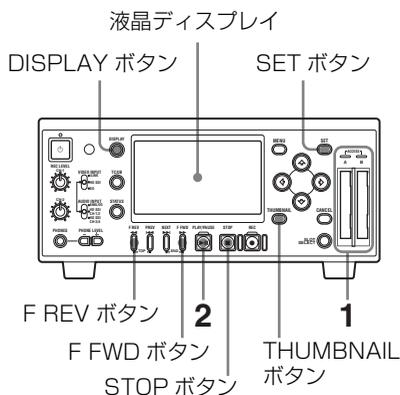
照)、再生画および再生音をモニターすることができます。

また、PHONES 端子にヘッドホンを接続して、再生音をモニターすることができます。ヘッドホンの音量は、PHONE LEVEL ボタンを押して調整します。

ご注意

他の機種でインターバルレック、フレームレック、スロー&クイックモーション操作により記録された音声は再生されません。

再生する



- 1 再生する SxS メモリーカードを入れる (40 ページ参照)。

- ◆ メモリーカードについて詳しくは、「SxS メモリーカードの取り扱い」(39 ページ)をご覧ください。

モニター画面にサムネイル画面 (60 ページ) を表示する場合は、THUMBNAIL ボタンを押します。

メモリーカードを切り換えるには
メモリーカードを2枚装着しているときは、SLOT SELECT ボタンを押して切り換えます。

ご注意

再生中にメモリーカードを切り換えることはできません。

2 PLAY/PAUSE ボタンを押して再生を開始する。

PLAY/PAUSE インジケーターが点灯します。

再生時の本機の状態を確認するには

DISPLAY ボタンを押します。

- ◆ モニター画面の表示については、「**[3]** 液晶ディスプレイ」(19ページ)をご覧ください。

再生を一時停止するには

PLAY/PAUSE ボタンを押します。
一時停止中はPLAY/PAUSE インジケーターが点滅します。
もう一度押すと再生モードに戻ります。

高速再生するには

4倍速、15倍速で順方向、逆方向に高速再生できます。高速再生時は音声はオフになります。

順方向に高速再生するには：F FWD ボタンまたは **➡** ボタンを押します。
ボタンを押すたびに、再生速度(4倍速/15倍速)が切り換わります。

逆方向に高速再生するには：F REV ボタンまたは **⬅** ボタンを押します。
ボタンを押すたびに、再生速度(4倍速/15倍速)が切り換わります。

標準再生に戻るには：PLAY/PAUSE ボタンを押します。

再生を終了するには

STOP ボタンを押すと、再生が停止し、本機はE-Eモードになります。
THUMBNAIL ボタンを押すと、再生が停止し、モニター画面にサムネイル画面が表示されます。

- ◆ サムネイル画面について詳しくは、「サムネイル画面」(60ページ)をご覧ください。

再生しながらショットマークを記録するには

赤外線リモートコマンダーを使用します。

1 OTHERSメニューのIR RemoteをOnにして、リモートコマンダーを操作可能にする(102ページ参照)。

2 再生を開始して、ショットマークを入れたいシーンで、SHOTMARK 1またはSHOTMARK 2ボタンを押す(再生を一時停止してから押すことも可能)。

押したボタンに対応するショットマークが記録されます。

ご注意

- カードがプロテクトされている場合にはショットマークは記録できません。
- クリップの先頭と末尾(再生が一時停止し、クリップ番号の表示が変わります)にはショットマークは記録できません。



クリップ操作メニューを表示するには

再生を一時停止して SET ボタンを押すと、クリップ操作メニューがポップアップ表示されます。クリップ操作メニューを使って、クリップの詳細情報を確認したり、ショットマークを追加するなどの操作が可能です。

- ◆ クリップ操作メニューについて詳しくは、「クリップ操作」(64 ページ)をご覧ください。

クリップの再生

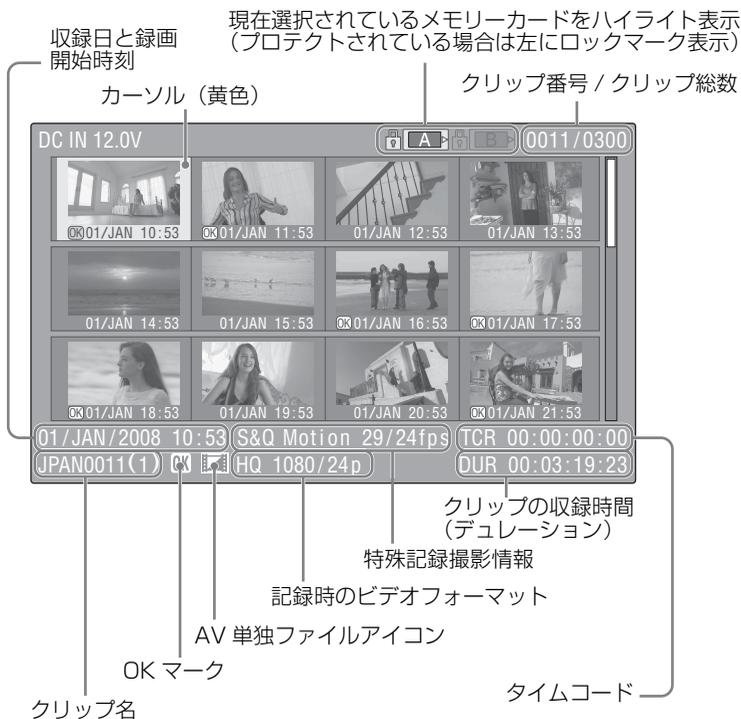
本機に SxS メモリーカードを入れたまま起動したり、E-E/再生モード時に THUMBNAIL ボタンを押すと、「サムネイル画面」が表示され、SxS メモリーカードに収録されているクリップの代表画がサムネイル（縮小画）として一覧表示されます。（クリップが記録されていないメモリーカードを入れた場合は、メッセージが表示されます。）サムネイル画面では、選択したクリップから再生を開始することができます。

サムネイル画面

各クリップの代表画像の下に、クリップの記録日と記録開始時刻が表示されます（OK マークが付加されている場合は OK マークも表示）。

各クリップの代表画

記録時にはクリップの先頭フレームが自動的に代表画に設定されます。任意のフレームに変更することもできます（73 ページ参照）。



OK マーク

クリップに OK マークが付加されている場合のみ表示されます。

AV 単独ファイルアイコン

選択したクリップが AV 単独ファイルの場合のみ表示されます。コンピューターでメモリーカードに直接追加したファイルなど正規の管理ファイルがない場合で、すべての操作と表示ができない可能性があることを示します。

タイムコード

代表画のタイムコードが表示されます。

特殊記録撮影情報

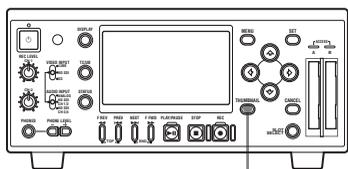
特殊記録モードで記録されたクリップの場合は、そのモードが表示されます。

S&Q Motion : スロー&クイックモーション。モード名の右に撮影フレームレート / 再生フレームレートが表示されます。

Interval Rec : インターバルレック
Frame Rec : フレームレック

OK マークを付加したクリップのみサムネイル画面に表示させるには

THUMBNAIL ボタンを押します。

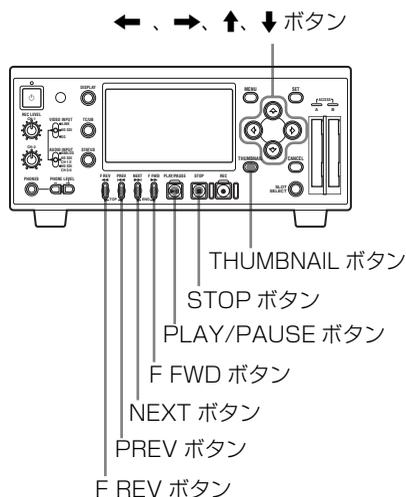


THUMB NAIL ボタン

選択されているメモリーカードに記録されたクリップの中で、OK マークが付加されたクリップのみのサムネイル画面になります。もう一度ボタンを押すと、全クリップのサムネイル画面に戻ります。

- ◆ OK マークの操作については、「クリップに OK マークを付ける」(68 ページ)をご覧ください。

クリップを選択して再生する



再生を開始するクリップを選択して PLAY/PAUSE ボタンを押すと、選択したクリップの先頭から再生が始まり、選

択したクリップ以降のすべてのクリップが連続再生されます。

再生を一時停止したり (58 ページ参照)、高速再生したり (58 ページ参照)、ショットマークを記録する (58 ページ参照) ことが可能です。

最後のクリップの再生が終わると、最後のクリップの最終フレームで一時停止 (静止画) モードになります。また、STOP ボタンを押して再生を停止すると、本機は E-E モードになります。

静止画 / E-E 画表示からサムネイル画面に戻るには

THUMB NAIL ボタンを押します。

で注意

- クリップとクリップの境界では、一時的に画像が乱れたり、静止画になる場合があります。またこの間は、再生コントロールボタンや THUMB NAIL ボタンは操作できません。
- サムネイル画面でクリップを選択して再生を開始すると、クリップの先頭部分の再生映像が乱れる場合があります。クリップの先頭から乱れない映像で再生するには、一度再生モードにした後で一時停止にし、PREV ボタンを押してクリップの先頭に戻して再生を行ってください。

クリップを選択するには

←、→、↑、↓ ボタンを押して、再生を開始したいクリップのサムネイルにカーソルを合わせます。

特定のクリップの位置にジャンプする（頭出しする）には

現在のクリップの先頭に戻るには

PREV ボタンを押します。

- 再生中または高速再生中に押すと、現在のクリップの先頭にジャンプして再生を開始します。
- 逆方向高速再生中または一時停止中に押すと、現在のクリップの先頭にジャンプして静止画を表示します。
- PREV ボタンを続けて押すと、押すたびに1つずつ前のクリップに移動します。

後ろのクリップの先頭にジャンプするには

NEXT ボタンを押します。

- 再生中または高速再生中に押すと、次のクリップの先頭にジャンプして再生を開始します。
- 逆方向高速再生中または一時停止中に押すと、次のクリップの先頭にジャンプして静止画を表示します。
- NEXT ボタンを続けて押すと、押すたびに1つずつ後ろのクリップに移動します。

最初のクリップの先頭から再生するには

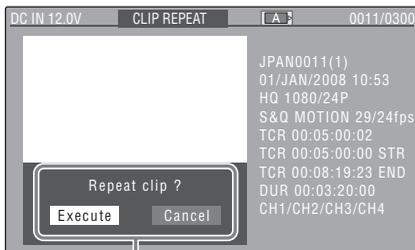
PREV ボタンと F REV ボタンを同時に押すと、メモリーカードの最初に記録されたクリップの先頭にジャンプします。

最後のクリップの先頭から再生するには

F FWD ボタンと NEXT ボタンを同時に押すと、メモリーカードの最後に記録されたクリップの先頭にジャンプします。

リピート再生する

クリップ操作メニューで CLIP REPEAT を選択すると、クリップのリピート再生画面になります。



リピート再生の実行を確認するメッセージ

クリップの詳細情報画面（67 ページ参照）と同様に、現在選択しているクリップの詳細情報が表示されます。画面下部には、現在選択しているクリップをリピート再生するかどうかを確認するメッセージが表示されます。

現在選択しているクリップをリピート再生するには

←、→ ボタンを押して「Execute」を選択し、SET ボタンを押します。

ご注意

- クリップリピート再生中は、STOP ボタン以外の記録・再生ボタンは機能しません。
- クリップリピート再生時の i.LINK HDV 出力では、クリップの最後の約 2 秒間の画像が出力されません。

リピート再生を終了するには

STOP ボタンを押すと、リピート再生が停止し、本機は E-E モードになります。THUMBNAIL ボタンを押すと、再生が停止し、モニター画面にサムネイル画面が表示されます。

クリップ操作

クリップ操作メニューを使用して、クリップの操作、詳細情報の確認、付随データの変更などが可能です。

クリップ操作メニューは、サムネイル画面 (60 ページ参照)、クリップエクスパンド画面 (70 ページ参照)、再生一時停止の静止画像、ショットマーク画面 (72 ページ参照) で表示されます。

クリップ操作メニュー構成

サムネイル画面 (65 ページ)

- CANCEL
- DISP CLIP INFO
- OK MARK DEL
- COPY CLIP
- DELETE CLIP
- SHOT MARK
- SHOT MARK1
- SHOT MARK2
- EXPAND CLIP
- CLIP REPEAT

クリップエクスパンド画面 (71 ページ)

- CANCEL
- EXPAND(COARSE)
- EXPAND(FINE)
- PAUSE
- SET INDEX PIC
- SHOT MARK1 ADD
- SHOT MARK2 ADD
- SHOT MARK1 DEL
- SHOT MARK2 DEL
- DIVIDE CLIP

再生一時停止の静止画像（66 ページ）

- CANCEL
- DISP CLIP INFO
- OK MARK ADD
- SHOT MARK1 ADD
- SHOT MARK2 ADD
- EXPAND CLIP

ショットマーク画面（72 ページ）

- CANCEL
- PAUSE
- SET INDEX PIC
- SHOT MARK1 DEL
- SHOT MARK2 DEL
- DIVIDE CLIP

クリップ操作メニューの基本操作

クリップ操作メニューを表示するには SET ボタンを押します。表示されている画面に対応するクリップ操作メニューが表示されます。

クリップ操作メニューを選択するには ↑、↓ ボタンを押してメニュー名を選択し、SET ボタンを押します。

CANCEL ボタンを押すと、操作前の画面に戻ります。クリップ操作メニューで CANCEL を選択すると、クリップ操作メニューが消えます。

ご注意

- SxS メモリーカードがプロテクトされているときは、クリップのコピー・削除・分割、代表画の変更、OK マーク、

ショットマークの付加・削除を実行することはできません。

- メニューを表示させたときの状態によって選択できない項目があります。

サムネイル画面のクリップ操作メニュー

サムネイル画面（60 ページ参照）で SET ボタンを押すと、カーソル位置のクリップの操作メニューが表示されます。

項目	機能
DISP CLIP INFO	クリップの詳細情報画面を表示する（67 ページ参照）。
OK MARK ADD	OK マークを付加する（68 ページ参照）。
OK MARK DELETE	OK マークを削除する（68 ページ参照）。
COPY CLIP	クリップを別の SxS メモリーカードにコピーする（68 ページ参照）。
DELETE CLIP	クリップを削除する（69 ページ参照）。
SHOT MARK	ショットマークが記録されているフレームをサムネイル表示する（71 ページ参照）。
SHOT MARK1	ショットマーク 1 が記録されているフレームのみをサムネイル表示する（71 ページ参照）。
SHOT MARK2	ショットマーク 2 が記録されているフレームのみをサムネイル表示する（71 ページ参照）。
EXPAND CLIP	クリップエクスパンド画面に切り換える（69 ページ参照）。

項目	機能
CLIP REPEAT	クリップをリピート再生する (63 ページ参照)。

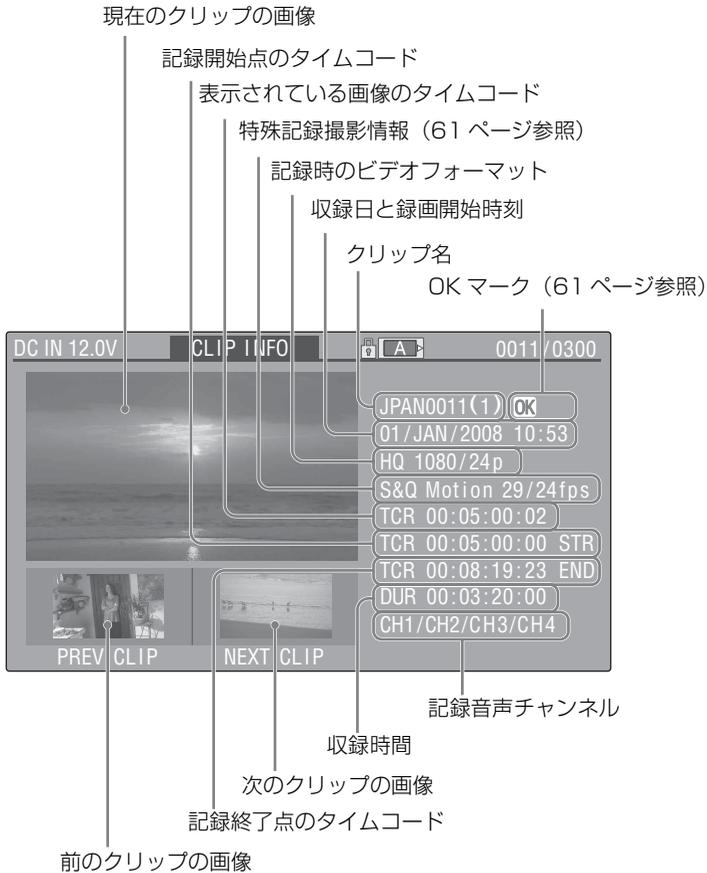
再生一時停止のクリップ操作メニュー

一時停止モードで静止画が表示されているときに SET ボタンを押すと、一時停止中のクリップの操作メニューが表示されます。

項目	機能
DISP CLIP INFO	クリップの詳細情報画面を表示する (67 ページ参照)。
OK MARK ADD	OK マークを付加する (68 ページ参照)。
SHOT MARK1 ADD	ショットマーク 1 を付加する (72 ページ参照)。
SHOT MARK2 ADD	ショットマーク 2 を付加する (72 ページ参照)。
EXPAND CLIP	クリップエクスパンド画面に切り換える (70 ページ参照)。

クリップの詳細情報を表示する

クリップ操作メニューで DISP CLIP INFO を選択すると、クリップの詳細情報画面になります。



前のクリップの画像

PREV ボタンまたは ← ボタンを押すと、1つ前のクリップの詳細情報画面になります。

次のクリップの画像

NEXT ボタンまたは → ボタンを押すと、次のクリップの詳細情報画面になります。

クリップに OK マークを付ける

クリップに OK マークを付加することによって、THUMBNAIL ボタンを押したときに必要なクリップのみサムネイル画面に表示されるように設定することができます。

OK マークを付加したクリップは、削除・分割が禁止されます。削除・分割したいときは、OK マークを削除してから操作してください。

OK マークを付加するには

- 1 クリップ操作メニューで OK MARK ADD を選択する。

クリップの詳細情報画面に切り換わり、代表画の下に確認メッセージが表示されます。

- 2 「実行」(Execute) を選択し、SET ボタンを押す。

選択されているクリップに OK マークが付加されます。

OK マークを削除するには

すでに OK マークが付加されているクリップの場合は、サムネイル画面のクリップ操作メニューに OK MARK DEL が表示されます。

- 1 クリップ操作メニューで OK MARK DEL を選択する。

クリップの詳細情報画面に切り換わり、代表画の下に確認メッセージが表示されます。

- 2 削除を実行するときは SET ボタンを押す。

選択されているクリップから OK マークが削除されます。

クリップをコピーする

サムネイル画面で選択したクリップを、もう 1 枚の SxS メモリーカードにコピーすることができます。

- 1 現在選択されているメモリーカードのサムネイル画面でコピーしたいクリップを選び、SET ボタンを押す。

サムネイル画面のクリップ操作メニューが表示されます。

- 2 クリップ操作メニューで COPY CLIP を選択する。

クリップの詳細情報画面に切り換わり、代表画の下に、確認メッセージが表示されます。

- 3 コピーを実行するときは、「実行」(Execute) を選択して、SET ボタンを押す。

コピーが始まります。

コピー先の SxS メモリーカードには同じクリップ名でコピーされます。コピー中は実行メッセージと進捗バーが表示されます。

コピーが完了すると、サムネイル画面に戻ります。

ご注意

- コピー先の SxS メモリーカードに同名のクリップが存在している場合は、オ

リジナルのクリップ名に1桁の括弧数字を付加したクリップ名でコピーされます。

括弧数字は、コピー先に存在しない最小値になります。

例:

ABCD0002→ABCD0002(1)

ABCD0002(1)→ABCD0002(2)

ABCD0005(3)→ABCD0005(4)

- コピー回数が10回を超えた場合など、括弧数字(1)～(9)がすでに存在するカードには、それ以上コピーできません。
- コピー先のSxSメモリーカードの残量が不足しているときはメッセージが表示されますので、コピー先のSxSメモリーカードを交換してください。
- 複数のクリップが記録されたSxSメモリーカードをコピーする場合は、容量が同じSxSメモリーカードであっても、使用条件やメモリーの特性などにより、すべてのクリップを最後までコピーできない場合があります。

コピーを中止するには

CANCEL ボタンを押します。

コピーを中止して、サムネイル画面に戻ります。

クリップを削除する

サムネイル画面で選択したクリップを、SxSメモリーカードから削除することができます。

- 1 サムネイル画面で削除したいクリップを選び、SET ボタンを押す。

サムネイル画面のクリップ操作メニューが表示されます。

- 2 クリップ操作メニューでDELETE CLIP を選択する。

クリップの詳細情報画面に切り換わり、代表画の下に確認メッセージが表示されます。

- 3 削除を実行するときは、「実行」(Execute) を選択して、SET ボタンを押す。

クリップが削除されます。

サムネイル画面では、削除したクリップの次以降が1つずつ繰り上がります。

クリップエクスパンド画面を表示させる

選択したクリップを時間で12分割し、各ブロックの先頭フレームをサムネイルとして表示することができます。

記録時間の長いクリップで、目的のシーンをすばやく頭出ししたい場合などに有効です。

クリップエクスパンド画面は、サムネイル画面で選択したクリップ、または再生を一時停止して静止画が表示されているクリップから選択できます。

- 1 クリップの再生を一時停止するか、サムネイル画面でクリップを選び、SET ボタンを押す。

対応するクリップ操作メニューが表示されます。

2 クリップ操作メニューでEXPAND CLIPを選択する。

再生を一時停止したクリップまたはサムネイル画面で選択したクリップのエクスパンド画面が表示されます。

再生一時停止のクリップ操作メニューで選択したクリップエクスパンド画面では、分割数を増やしたさらに細かい時間間隔で表示されます。

クリップエクスパンド画面

選択されているフレームの番号



フレーム情報

タイムコード表示

画面下部にクリップの詳細情報が表示されます。

下記の項目以外は、通常のサムネイル画面で表示される項目と共通です。

フレーム情報

選択したフレームの情報をアイコンで表示します。

	代表画
	ショットマーク1が付加されたフレーム

	ショットマーク2が付加されたフレーム
--	--------------------

それぞれのサムネイル画像の下にも同じアイコンが表示されます。ただし、同じフレームに複数の情報が付加されている場合には、代表画 → ショットマーク1 → ショットマーク2の優先順位で表示されます。

タイムコード表示

画面で選択されているフレームのタイムコードを表示します。

クリップエクスパンド画面のクリップ操作メニュー

クリップエクスパンド画面でフレームを選択してSET ボタンを押すと、クリップ操作メニューがポップアップ表示され、さらに細かく分割表示したり、選択したフレーム以降を別のクリップとして保存するなどの操作が可能です。

項目	機能
EXPAND (COARSE)	クリップの分割数を減らす。
EXPAND (FINE)	クリップの分割数を増やす。
PAUSE	選択したフレームで再生の一時停止モードにする。
SET INDEX PIC	選択したフレームを代表画に設定する (73 ページ参照)。
SHOT MARK1 ADD	選択したフレームにショットマーク 1 を付加する (72 ページ参照)。
SHOT MARK2 ADD	選択したフレームにショットマーク 2 を付加する (72 ページ参照)。
SHOT MARK1 DEL	選択したフレームに付加されているショットマーク 1 を削除する (73 ページ参照)。
SHOT MARK2 DEL	選択したフレームに付加されているショットマーク 2 を削除する (73 ページ参照)。
DIVIDE CLIP	選択したフレーム位置で 2 つのクリップに分割する (74 ページ参照)。

ショットマーク画面を表示する

クリップに 1 つ以上のショットマークが記録されている場合、ショットマークの付加されているフレームだけをサムネイル形式で表示することができます。

- 1 サムネイル画面でクリップを選ぶ。
- 2 SET ボタンを押す。
クリップ操作メニューが表示されます。
- 3 SHOT MARK、SHOT MARK1、または SHOT MARK2 を選択する。

SHOT MARK : ショットマーク 1 が付加されているフレームとショットマーク 2 が付加されているフレームの両方がサムネイル表示されます。

SHOT MARK1 : ショットマーク 1 が付加されているフレームのみサムネイル表示されます。

SHOT MARK2 : ショットマーク 2 が付加されているフレームのみサムネイル表示されます。

ショットマーク画面例 (SHOT MARK 選択時)



フレーム情報 (70 ページ参照)

タイムコード表示 (70 ページ参照)

画面下部にクリップの詳細情報が表示されます。

フレーム情報、タイムコード表示以外は、クリップエクスパンド画面で表示される項目と共通です。

ショットマーク画面のクリップ操作メニュー

ショットマーク画面でフレームを選択して SET ボタンを押すと、クリップ操作メニューがポップアップ表示され、ショットマークを削除するなどの操作が可能です。

項目	機能
PAUSE	選択したフレームで再生の一時停止モードにする。
SET INDEX PIC	選択したフレームを代表画に設定する (74 ページ参照)。
SHOT MARK1 DEL	選択したフレームに付加されているショットマーク 1 を削除する (73 ページ参照)。

項目	機能
SHOT MARK2 DEL	選択したフレームに付加されているショットマーク 2 を削除する (73 ページ参照)。
DIVIDE CLIP	選択したフレーム位置で 2 つのクリップに分割する (74 ページ参照)。

ショットマークを追加・削除する

記録済みのクリップにショットマークを追加したり、記録されているショットマークを削除することができます。

一時停止中にショットマークを追加するには

- 1 ショットマークを追加したいフレームで再生を一時停止モードにして、SET ボタンを押す。

クリップ操作メニューが表示され
ます。

- 2 クリップ操作メニューから、SHOT MARK1 ADD または SHOT MARK2 ADD を選択する。

確認メッセージが表示されます。

- 3 SET ボタン押す。

操作を中止するときは

Cancel を選択して SET ボタンを押すか、CANCEL ボタンを押します。

クリップエクスパンド画面で ショットマークを追加するには

- 1 クリップエクスパンド画面でショットマークを追加したいフレームを選択し、SET ボタンを押す。

クリップ操作メニューが表示され
ます。

- 2 クリップ操作メニューから SHOT MARK1 ADD または SHOT MARK2 ADD を選ぶ。

選択したフレームの詳細表示画面
になり、画像の下に確認メッセ
ージが表示されます。

- 3 SET ボタン押す。

操作を中止するときは

Cancel を選択して SET ボタンを押すか、CANCEL ボタンを押します。

ショットマークを削除するには

クリップエクスパンド画面（69 ページ参照）またはショットマーク画面（72 ページ参照）で削除できます。

- 1 クリップエクスパンド画面またはショットマーク画面でショットマークを削除したいフレームを選択し、SET ボタンを押す。

クリップ操作メニューが表示され
ます。

- 2 クリップ操作メニューから SHOT MARK1 DEL または SHOT MARK2 DEL を選ぶ。

選択したフレームの詳細表示画面
になり、画像の下に確認メッセ
ージが表示されます。

- 3 SET ボタン押す。

操作を中止するときは

Cancel を選択して SET ボタンを押すか、CANCEL ボタンを押します。

クリップの代表画を変更 する

クリップエクスパンド画面（69 ページ参照）やショットマーク画面（72 ページ参照）で選択したフレームを、クリップの代表画に設定することができます。

- 1 クリップエクスパンド画面またはショットマーク画面で代表画にしたいフレームを選択し、SET ボタンを押す。

- 2 クリップ操作メニューから SET INDEX PIC を選ぶ。

選択したフレームの詳細表示画面になり、画像の下に確認メッセージが表示されます。

- 3 SET ボタン押す。

操作を中止するときは

Cancel を選択して SET ボタンを押すか、CANCEL ボタンを押します。

クリップを分割する

クリップエクスパンド画面（69 ページ参照）やショットマーク画面（72 ページ参照）で選択したフレーム位置で2つのクリップに分割することができます。

- 1 クリップエクスパンド画面またはショットマーク画面で、分割点のフレームを選択し、SET ボタンを押す。

クリップ操作メニューが表示されます。

- 2 クリップ操作メニューから DIVIDE CLIP を選ぶ。

選択したフレームの詳細表示画面になり、画像の下に確認メッセージが表示されます。

- 3 SET ボタン押す。

操作を中止するときは

Cancel を選択して SET ボタンを押すか、CANCEL ボタンを押します。

選択したフレーム位置で分割され、2つの別の名前のクリップが新たに作成されます。

クリップ名の前半4文字は元のクリップの名前を引き継ぎ、後半4文字は最新の連続番号になります。

例：新たに記録した場合に EFGH0100 というクリップが作られる状態で、ABCD0002 という名前のクリップを分割した場合、ABCD0100 と ABCD0101 の2つのクリップが作成されます。

ご注意

メモリーカードの残量が、クリップ分割に必要な容量に満たない場合は、残量不足を知らせるメッセージが表示されません。

タイムコードやユーザービットを記録する

タイムコードを記録するには、次の3通りの方法があります。

プリセット (Preset) モード：初期値を設定し、本機内部でタイムコードを発生させて記録します。次のいずれかの歩進モードを選択できます。

Free Run (フリーラン)：タイムコードが常に歩進する。

Rec Run (レックラン)：記録中のみタイムコードが歩進する。

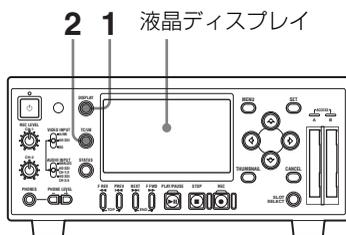
リジェネレート (Regen) モード：最後に記録したクリップのタイムコードに連続させて、本機内部でタイムコードを発生させて記録します。

外部リジェネレート (Ext Regen) モード：外部から入力されたタイムコードに同期させて、本機内部でタイムコードを発生させて記録します。外部入力タイムコードとして、HD SDI INPUT 端子に入力される HDSDI 信号に重畳されたタイムコードを使用します。

ご注意

本機の iHDV/DV 端子から入力された HDV フォーマットの信号を記録するときは、タイムコードおよびユーザービットは自動的にコピーされ、本機でプリセットすることはできません。

タイムデータを表示するには



- 1 DISPLAY ボタンを押して、モニター画面にタイムデータを表示する。
- 2 TC/UB ボタンを押して、タイムデータ表示のタイムデータ種別インジケータを TCG または UBG にする。
 - TCG**：タイムコードの値を表示するとき
 - UBG**：ユーザービットデータを表示するとき

タイムコードの初期値とユーザービットデータを設定する（プリセットモード）

内蔵の TC（タイムコード）ジェネレーターが生成するタイムコード（内部タイムコード）を記録する場合、タイムコードの初期値を設定することができます。また、ユーザービットデータをあらかじめ設定しておき、メモ情報として記録することができます。

- 1 TC/UB SET メニューの Timecode で Mode と Run を次のように設定する。

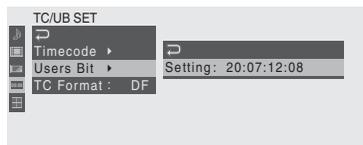
項目	設定
Mode	Preset
Run	Free Run ¹⁾ または Rec Run ²⁾

- 1) 設定の終了と同時に内蔵の TC ジェネレーターが歩進を始めます。
- 2) 内蔵の TC ジェネレーターの歩進開始 / 停止を、記録開始 / 停止に連動させます。

- 2 システム周波数が 60i または 60P の場合は、TC/UB SET メニューの TC Format を DF（ドロップフレーム）または NDF（ノンドロップフレーム）に設定する

- 3 TC/UB SET メニューの Timecode または User Bit で Setting を選択する。

現在の設定値が表示されます。



- 4 「文字列を入力するには」（96 ページ）の手順 1、2 を参照して、値を入力する。

ユーザービットは、16 進数（0～9、A～F）で設定します。

タイムコードを 00:00:00:00 にリセットするには

TC/UB SET メニューの Timecode で Reset を Execute に設定し、手順 5 に進みます。

- 5 SET ボタンを押す。

設定した値が本機のメモリーに保存されます。

ご注意

保存中に本機の電源を切ると、設定した内容が失われることがあります。保存が完了するまで、電源を切らないでください。

記録済みのタイムコードに続けてタイムコードを記録するには（リジェネレートモード）

本機の記録フォーマットの設定が SxS メモリーカードの記録フォーマットと一致しているとき、記録済みタイムコードに連続させて、タイムコードを記録することができます。

TC/UB SET メニューの Timecode で、Mode を Regen に設定すると、記録開始時にメモリーカード上のタイムコードを読み込み、これに連続するタイムコードを本機内部で発生させて記録します。

外部タイムコードに内蔵タイムコードジェネレーターを同期させる — 外部同期（外部リジェネレートモード）

本機に入力された外部タイムコード（HD SDI INPUT 端子に入力される HDSDI 信号に重畳されたタイムコード）に内蔵の TC ジェネレーターを同期させることができます。この方法は、複数の機器の TC ジェネレーターを同期させる場合や、外部 VTR の再生タイムコードを記録する場合、ソース画像とタイムコードの関係を乱さずに記録したい場合などに使用します。

- 1 HD SDI INPUT 端子に HDSDI 信号を入力する。
- 2 VIDEO INPUT スイッチを HD SDI または SG に設定する。

- 3 TC/UB SET メニューの Timecode で、Mode を Ext Regen に設定する。

ご注意

HD SDI INPUT 端子への入力信号にタイムコードデータが重畳されていない場合は、内蔵のタイムコードジェネレーターの値が初期値となります。

外部ビデオモニターを接続する

本機の COMPOSITE 端子、S-VIDEO 端子、COMPONENT 端子、HDMI 端子、HD/SD SDI OUTPUT 端子のいずれにも、外部ビデオモニターを接続することができます。

なお、各端子からの出力信号には、タイムコード、メニュー設定、アラームメッセージなどの文字情報をスーパーインポーズ（重ねて表示）することができます。スーパーインポーズされた信号を外部ビデオモニターに入力すると、液晶ディスプレイに表示されるのと同じ情報を外部ビデオモニターで確認することができます。

- ◆ 詳しくは、「文字情報をスーパーインポーズする」（51 ページ）をご覧ください。

ご注意

本機には HDMI 入力端子はありません。HDMI 端子は外部ビデオモニターへの出力用として装備されています。

SD 信号の出力モード（アスペクト） を選択するには

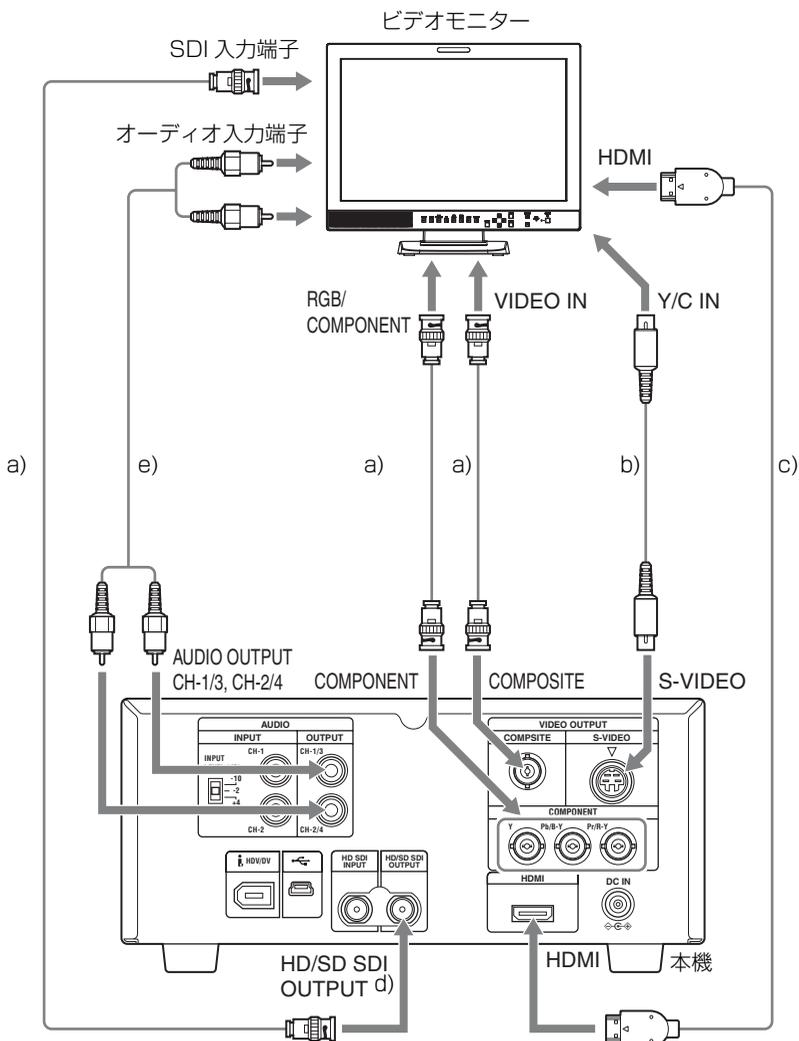
COMPONENT 端子、HDMI 端子、HD/SD SDI OUTPUT 端子からダウンコン

バートした SD 信号を出力するときは、VIDEO SET メニューの Down Converter（99 ページ参照）で出力モードを選択することができます。

Squeeze（スクイーズ）：16:9 画像を左右方向に縮小して 4:3 画像として出力

Letterbox（レターボックス）：4:3 画像の上下をマスクして、画面中央に 16:9 映像を表示

Edge Crop（エッジクロップ）：16:9 画像の両端をカットして 4:3 画像として出力



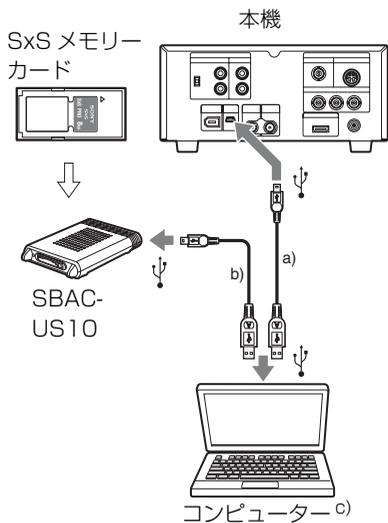
- a) 75Ω 同軸ケーブル
- b) Sビデオケーブル
- c) HDMIケーブル
- d) 出力されるビデオ信号のフォーマットを、VIDEO SETメニューのHDMI/CMPNT/SDI Out SEL (98ページ参照)で選択する。
- e) ピンケーブル

コンピューターでクリップを管理・編集する

本機で SxS メモリーカードに記録したクリップを、コンピューター上で管理したり、別売のノンリニア編集ソフトで編集することができます。

本機と SxS メモリーカード USB リーダー/ライター SBAC-US10 (別売) を、USB ケーブルを使ってコンピューターに接続する場合の例を示します。本機に装着されたメモリーカードは、コンピューターの拡張ドライブとして認識されます。

◆ SBAC-US10 の使い方については、SBAC-US10 に付属の取扱説明書をご覧ください。



- a) USB ケーブル (本機に付属)
- b) USB ケーブル (SBAC-US10 に付属)

c) クリップ管理・編集ソフトウェアをインストール済み

ご注意

- コンピューターに接続するときは、USB コネクターの形と向きに注意してください。
- 本機、SBAC-US10 とも、コンピューターからのバスパワーでは動作しません。それぞれに電源を用意してください。

本機とコンピューターの接続を確認するには

1 本機を起動する。

液晶ディスプレイに USB の接続を有効にするかどうかを確認するメッセージが表示されます。

Connect USB Now?

Execute
Cancel

ご注意

SxS メモリーカードのフォーマットや修復など、実行を確認するメッセージや実行中のメッセージが表示されている間は、USB 接続確認メッセージは表示されません。フォーマットや修復などの実行が終了後に表示されます。

またクリップの詳細情報表示中も USB 接続確認メッセージは表示されません。処理が終了するか、サムネイル画面に戻ると表示されます。

2 「実行」(Execute) を選択して、SET ボタンを押す。

次のような画面が表示されます。



- 3 Windows の場合、「マイコンピュータ」にリムーバブルディスクとして追加されていることを確認する。

Macintosh の場合、デスクトップに NO NAME または Untitled フォルダ（フォルダ名は任意に変更可）が作成されていることを確認する。

追加・作成されていれば正常に動作しています。

ご注意

ACCESS ランプが赤く点灯しているときは、次の操作を行わないでください。

- 電源を切る。電源コードを抜く。
- SxS メモリーカードを抜く。
- USB ケーブルを抜く。

SxS メモリーカード（拡張ドライブ）を取り外すには

Windows の場合

- 1 コンピューターのタスクバーに表示されている「ハードウェアの取り外しまたは取り出し」アイコンをクリックする。

- 2 表示されたメニューから「SxS Memory Card - ドライブ (X:) を安全に取り外します」を選択する。

- 3 安全に取りはずすことができることを知らせるメッセージが表示されたら、カードを抜く。

Macintosh の場合

デスクトップにある SxS メモリーカードのアイコンを「ゴミ箱」（イジェクトアイコン）にドラッグします。

ファインダ上に SxS メモリーカードのアイコンがある場合は、横のイジェクトアイコンをクリックしてください。

ご注意

メニューバーに表示されている SxS メモリーカードのアイコンから「カード電源切」を選択しないでください。

付属のアプリケーションソフトウェアを使うには

コンピューターのローカルディスクにクリップをコピーする場合などは、付属の専用アプリケーションソフトウェアを使用します。

使用するコンピューターに、付属の CD-ROM に収録されている専用アプリケーションソフトウェアをインストールしてください。

記録した素材は、情報が複数のファイル、複数のフォルダーにまたがって置かれていますが、専用アプリケーションソフトウェアでは、これらの情報やディレクトリ構造を、ユーザーが意識することなく、容易に扱えるようになっています。

ご注意

Explorer（Windows 環境）や Finder（Mac 環境）を使用して、SxS メモリー

カード内のクリップのコピーなどを行うと、クリップが持つ情報を保持できなくなることがあります。そのような状況を避けるため、専用アプリケーションソフトウェアを使用してください。

動作環境については「ソフトウェアの使いかた」（13ページ）を、インストール方法や使いかたについてはCD-ROMに収録されているユーザーガイドをご覧ください。

専用アプリケーションソフトウェアのサポート情報については、「XDCAM EX web site」（13ページ）または付属のCD-ROMのトップページに記載されているURLをご覧ください。

ノンリニア編集システムを使うには

ノンリニア編集システムには、本機で記録したフォーマットに対応した編集ソフトウェア（別売）が必要です。

付属の専用アプリケーションソフトウェアを使って、あらかじめコンピューターのHDDに編集したいクリップを保存しておきます。

使用する編集ソフトによっては正しく動作しない場合があります。ご使用になる前に、必ず本機で記録したフォーマットに対応することをご確認ください。

- ◆  HDV/DV 端子を使ったノンリニア編集については、「ノンリニア編集する」（87ページ）をご覧ください。

アップル社製ソフトウェア Final Cut Pro を使うときは

XDCAM Transfer を使って、アップルコンピュータ製 Final Cut Pro で編集できるファイルに変換する必要があります。

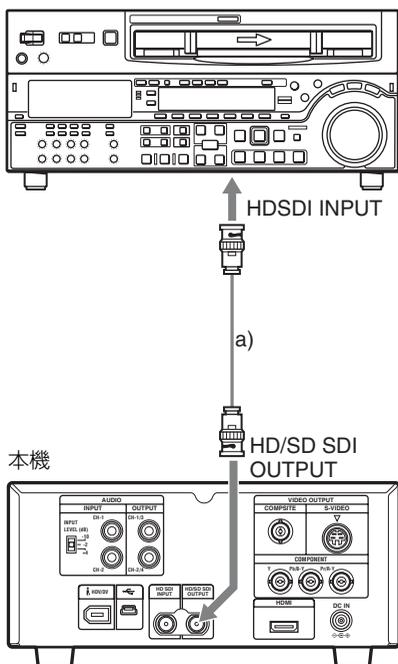
XDCAM Transfer について詳しくは、「XDCAM EX web site」（13ページ）または付属のCD-ROMのトップページに記載されているURLをご覧ください。

HD SDI 端子を使って接続する

クリップをダビングする

本機と HDW-2000 などの HDCAM シリーズまたは XDCAM HD シリーズ機器を接続して、SxS メモリーカードに記録されたクリップをテープにダビングする場合の例を示します。

HDCAM シリーズ VTR



- 75Ω 同軸ケーブル
- VIDEO SET メニューの HDMI/CMPNT / SDI Out SEL (98 ページ参照) で、1080i / 720P を選択する。また、iLINK I/O Select (99 ページ参照) を DVCAM 以外に設定する。

クリップをダビングするには

- 記録側機器のビデオおよびオーディオ入力信号のフォーマットを「HDSDI」に設定する。
 - ◆ 設定について詳しくは、記録側機器に付属のオペレーションマニュアルをご覧ください。
- 記録側機器を録画スタンバイ状態にする。
- 本機に SxS メモリーカードを入れ、ダビングしたいクリップを頭出しする。
- 記録側機器で記録を開始する。
- 本機でクリップの再生を開始する。
- ダビングが完了したら、記録側機器で記録を終了し、本機の再生を停止する。

ライブ収録システムを構成する

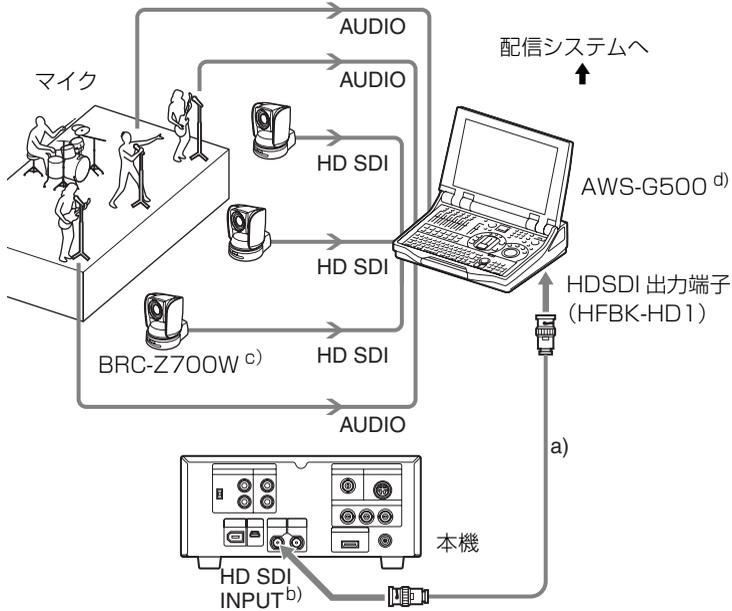
HD 3CMOS カラービデオカメラ BRC-Z700W、マイク、ライブコンテンツプロデューサー AWS-G500 と本機を組み合わせ、ライブ収録システムを構成する場合の例を示します。

- ◆ BRC-Z700W、マイクおよび AWS-G500 の接続や使いかたについては、それぞれの製品に付属の取扱説明書をご覧ください。

本機でライブ収録を記録するときは

REC ボタンを使ってマニュアルで操作します。

◆ 操作方法については、「記録」（53 ページ）をご覧ください。



a) 75Ω 同軸ケーブル

b) 入力信号のフォーマットに合致するビデオフォーマットを、OTHERS メニューの Video Format (103 ページ参照) で選択する。

c) HD インターフェイスボード HFBK-HD1 (別売) が必要。

d) HD シリアルデジタルインターフェイスモジュール BKAW-590 (別売) が必要。

i.LINK 端子を使って接続する

HDV 互換のビデオフォーマットを選択している場合は、i.LINK HDV/DV 端子に外部機器を接続して、SxS メモリーカードに記録されたクリップを外部機器でダビングしたり、外部機器の再生画像を本機で SxS メモリーカードに記録することができます。また、i.LINK HDV/DV 端子を介して、ノンリニア編集システムに HDV フォーマットまたは DVCAM フォーマットの信号を供給することができます。

ご注意

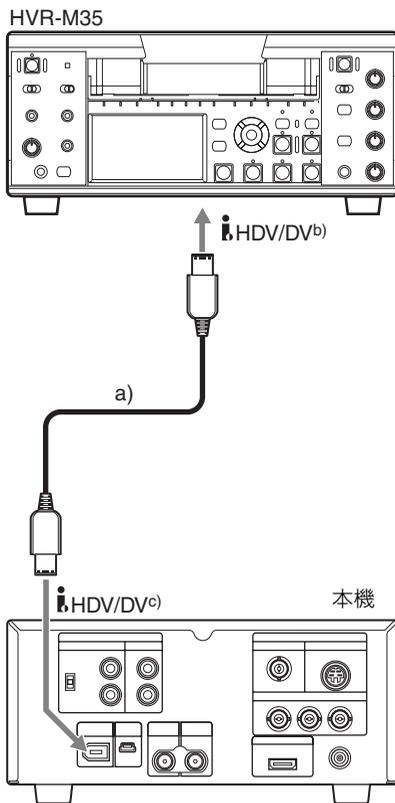
- i.LINK 接続は 1 対 1 で使用してください。
- SP 1080/60i、SP 1080/24P、SP 1080/50i (Country の設定が PAL Area の場合) 以外のフォーマットで記録されたクリップを再生して、HDV フォーマットの信号を出力することはできません。
- HQ 1080/24P、HQ 720/24P のフォーマットで記録されたクリップを再生して、DVCAM フォーマットの信号を出力することはできません。
- 出力フォーマット (HDV/DVCAM) の切り換えは、VIDEO SET メニューの i.LINK I/O Select (99 ページ参照)で行います。出力フォーマットの切り換えは、必ず接続機器の電源を切ってから行ってください。

- 本機に i.LINK 接続した機器を、AV/C コマンドでコントロールすることはできません。

クリップをダビングする

本機と HDV ビデオカセットレコーダー HVR-M35 を接続して、SxS メモリーカードに記録されたクリップをテープにダビングする場合の例を示します。

- ◆ HVR-M35 の使いかたについては、HVR-M35 に付属の取扱説明書をご覧ください。



- a) i.LINK ケーブル
- b) 本機のビデオフォーマットに合わせて入力フォーマットを選択する。

- c) VIDEO SET メニューの iLINK I/O Select (99 ページ参照) を HDV または DVCAM に設定する。

クリップをダビングするには

1 本機のビデオフォーマットを、SP 1080/60i (Country の設定が NTSC Area の場合) または SP 1080/50i (Country の設定が PAL Area の場合) に設定する。

2 VIDEO SET メニューの iLINK I/O Select (99 ページ参照) を HDV または DVCAM に設定する。

ご注意

iLINK I/O Select の設定を変更するときは、必ず接続機器の電源を切ってください。

3 HVR-M35 を録画スタンバイ状態にする。

4 本機に SxS メモリーカードを入れ、ダビングしたいクリップを頭出しする。

5 HVR-M35 で記録を開始する。

6 ダビングが完了したら、HVR-M35 で記録を終了し、本機の再生を停止する。

が NTSC Area の場合) または SP 1080/50i (Country の設定が PAL Area の場合) に設定されているときに、HDV フォーマットの信号を記録できます。タイムコードは、本機の設定にかかわらず、iLINK 入力に重畳されているタイムコードが記録されます。

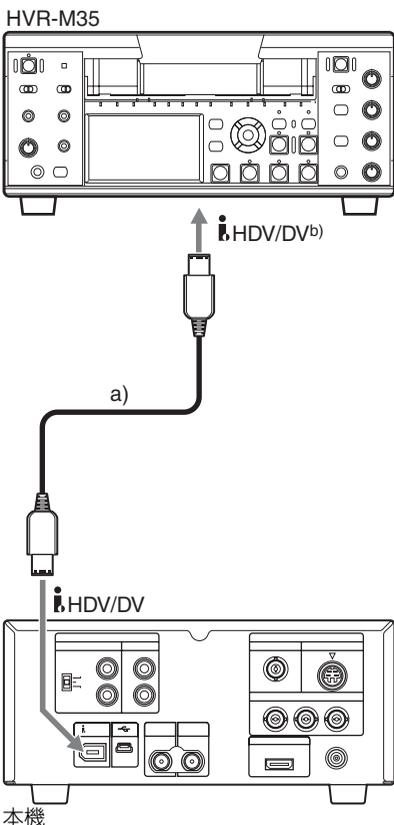
◆ HVR-M35 の使いかたについては、HVR-M35 に付属の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 本機では DVCAM フォーマットの信号を記録することはできません。
- 出力フォーマット (HDV/DVCAM) の切り換えは、必ず接続機器の電源を切ってから行ってください。

外部入力信号を記録する

本機と HDV ビデオカセットレコーダー HVR-M35 を接続して、HVR-M35 の再生信号を SxS メモリーカードに記録する場合の例を示します。本機のビデオフォーマットが SP 1080/60i (Country の設定



- a) i.LINK ケーブル
 b) VIDEO SET メニューの i.LINK I/O Select (99 ページ参照) を HDV に設定する。

外部入力信号を記録するには

- 1 本機のビデオフォーマットを SP 1080/60i (Country の設定が NTSC Area の場合) または SP 1080/50i (Country の設定が PAL Area の場合) に設定する。
- 2 VIDEO SET メニューの i.LINK I/O Select (99 ページ参照) を HDV に設定する。

ご注意

i.LINK I/O Select の設定を変更するときは、必ず接続機器の電源を切ってください。

- 3 本機の VIDEO INPUT スイッチを i.LINK に設定する。
- 4 HVR-M35 で再生を開始する。
- 5 記録したい位置から、本機で記録を開始する。
- 6 記録が完了したら、本機で記録を終了し、HVR-M35 の再生を停止する。

ご注意

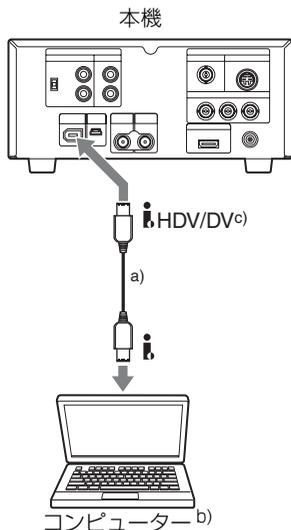
- 次のような場合、エラーメッセージが表示されます。記録を停止してください。
 - 本機で設定されているビデオフォーマットと異なる信号が入力されている。
 - コピー禁止ストリームが入力されている。
- 記録中に本機への入力が無信号となった場合は、モニター画面の i.LINK 状態表示が「●REC」の点滅となり、SxS メモリーカードに何も記録されていないことが通知されます。再び信号が入力されると記録が再開されますが、記録されるクリップ番号が繰り上がります。

ノンリニア編集する

i.HDV/DV 端子にノンリニア編集ソフトウェアがインストールされたコンピュータを接続して、SxS メモリー

カードに記録されたクリップを編集する場合の例を示します。

- ◆ ノンリニア編集ソフトウェアの操作については、ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。



- i.LINK ケーブル
- ノンリニア編集ソフトウェアをインストール済み
- VIDEO SET メニューの i.LINK I/O Select (99 ページ参照) を HDV または DVCAM に設定する。

ご注意

- 本機では DVCAM フォーマットの信号を記録することはできません。
- VIDEO SET メニューの i.LINK I/O Select (99 ページ参照) で出力フォーマット (HDV/DVCAM) を切り換えるときは、必ず接続機器の電源を切ってください。
- 本機の  HDV/DV 端子は 6 ピンです。接続するコンピューターの i.LINK 端

子のピン数をご確認のうえ、適切な i.LINK ケーブルをお使いください。

- コンピューター上で本機の画像を検索するとき、画像の表示がコンピューター画面に反映されるまでに時間がかかる場合があります。
- クリップが短い場合や再生開始点からクリップ終端までが短い場合、クリップの境界で i.LINK 信号が途切れることがあります。また、このような信号をノンリニア編集機でキャプチャしようとした場合、アプリケーションによっては誤動作することがあります。
- ノンリニア編集機で×4倍、×15倍以外のサーチ速度を指定すると、i.LINK 信号は出力されません。この場合、液晶ディスプレイは静止画のままになることがあります。
- ノンリニア編集ソフトウェアによっては、高速再生画がコンピューター上に出ない場合があります。

ステータス画面を表示する

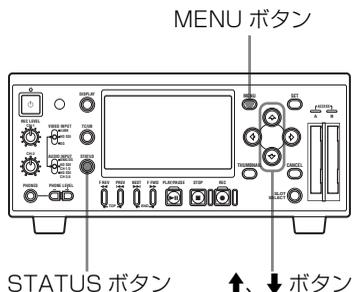
本機では、3種類のステータス画面を表示して、本機の設定や状態を確認することができます。

ステータス画面は、モニター画面に表示されます。

- ◆ 外部ビデオモニターの接続については、「外部ビデオモニターを接続する」(78ページ)をご覧ください。

表示できるステータス画面

- オーディオステータス画面 (90 ページ)
- ビデオステータス画面 (91 ページ)
- リモート / メディアステータス画面 (92 ページ)



ステータス画面を表示させるには

STATUS ボタンを押します。

ステータス画面を切り換えるには

↑、↓ ボタンを押すと、順次切り換わります。

ステータス画面を消すには

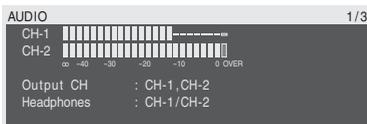
STATUS ボタンをもう一度押します。また、MENU ボタンを押してメニューを表示したり、再生を開始または停止 (STOP ボタンを押して) した場合もステータス画面が消えます。

ご注意

- 再生を一時停止してステータス画面を表示した場合、再生を再開してもステータス画面は消えません。
- 記録中にステータス画面を表示した場合、STOP ボタンを押して記録を終了してもステータス画面は消えません。

オーディオステータス画面

オーディオ信号に関連する情報を表示します。



CH-1/CH-2/CH-3/CH-4 : オーディオレベルメーター

AUDIO SET メニューの Output CH の設定に応じて、CH-1、CH-2、または CH-3、CH-4 の再生音声レベルを表示します。

E-E モード時または記録時に、VIDEO INPUT スイッチを HD SDI または SG に設定していて、音声の入力がある場合は、入力音声レベルを表示します。この場合は、AUDIO SET メニューの Output CH の設定にかかわらず、左端のチャンネル表示は CH-1、CH-2 になります。

VIDEO INPUT スイッチを iLINK に設定している場合は、Output CH の設定がそのまま表示されます。iLINK 入力選択時には、Output CH の設定を CH-1, CH-2 に設定してください。

上記以外の条件のときは、オーディオレベルメーターは動作しません。

Output CH : 出力チャンネル設定

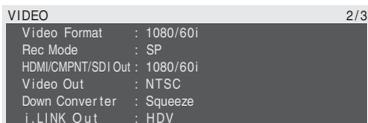
AUDIO SET メニューの Output CH の設定を表示します。

Headphones : ヘッドホン出力

ヘッドホンに出力される音声チャンネルを表示します。AUDIO SET メニューの Monitor CH の設定をそのまま表示します。

ビデオステータス画面

ビデオ信号の記録、再生に関連する情報を表示します。



VIDEO		2/3
Video Format	: 1080/60i	
Rec Mode	: SP	
HDMI/CMPNT/SDI Out	: 1080/60i	
Video Out	: NTSC	
Down Converter	: Squeeze	
i.LINK Out	: HDV	

Video Format : ビデオフォーマット

OTHERS メニューの Video Format で設定されているビデオフォーマットの有効垂直ライン数、フレームレート、スキャン方式を表示します。

Rec Mode : 記録ビットレート

OTHERS メニューの Video Format で設定されているビデオフォーマットのビットレート (HQ または SP) を表示します。

HDMI/CMPNT/SDI Out : HDMI/コンポーネント/SDI 出力設定

VIDEO SET メニューの HDMI/CMPNT/SDI Out SEL の設定に応じて、HDMI 端子、COMPONENT 端子、HD/SD SDI OUTPUT 端子から実際に出力されているビデオ信号の、有効垂直ライン数、フレームレート、スキャン方式を表示します。

Video Out : アナログビデオフォーマット

COMPOSITE 端子、S-VIDEO 端子から出力されているアナログビデオ信号の

フォーマット (NTSC/PAL) を表示します。

Down Converter : SD 出力のダウンコンバーター設定

VIDEO SET メニューの Down Converter の設定 (Squeeze、Letterbox、Edge Crop) を表示します。

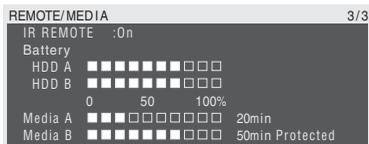
i.LINK Out : HDV/DV 端子出力

VIDEO SET メニューの i.LINK I/O Select の設定に応じて、HDV/DV 端子の出力の状態 (HDV/DVCAM/OFF) を表示します。



リモート / メディアステータス画面

赤外線リモートコマンドの有効 / 無効の状態と、メディアの残量 / 残記録可能時間を表示します。



IR REMOTE : 赤外線リモートコマンドの有効 / 無効

赤外線リモートコマンドが有効 (ON) になっているか、無効 (OFF) を表示します。

HDD A/HDD B : PHU-120R のバッテリー残量

プロフェッショナルハードディスクユニット PHU-120R が装着されている場合は、それぞれ対応するスロットに接続されている PHU-120R のバッテリーの残量を表示します。

Media A/Media B : メディアの残量 / 残記録可能時間

それぞれ対応するスロットに挿入されている SxS メモリーカードの空き記録容量をメーター表示します。

空き記録容量メーターの右には、現在の記録ビットレートで撮影を行った場合に記録可能な残り時間を計算して分単位で表示します。

対応するスロットに SxS メモリーカードが挿入されていない場合や、使用できな

いメモリーカードが挿入されている場合は、残記録可能時間として「-- min」が表示されます。SxS メモリーカードが書き込み防止になっている場合は、残記録可能時間の右に「Protected」が表示されます。

セットアップメニューの構成と階層

本機では、モニター画面に表示されるセットアップメニューを使用して、記録や再生に必要な各種の設定を行います。

- ◆ 外部ビデオモニターの接続については、「外部ビデオモニターを接続する」(78 ページ)をご覧ください。

セットアップメニューの構成

MENU ボタンを押すと、下記のメニューアイコンが表示され、それぞれ対応するメニューを選択できます。

🎵 AUDIO SET メニュー

音声に関する設定を行います (97 ページ)。

📺 VIDEO SET メニュー

映像出力に関する設定を行います (98 ページ)。

📺 LCD SET メニュー

液晶ディスプレイの表示に関する設定を行います (99 ページ)。

🕒 00:00 TC/UB SET メニュー

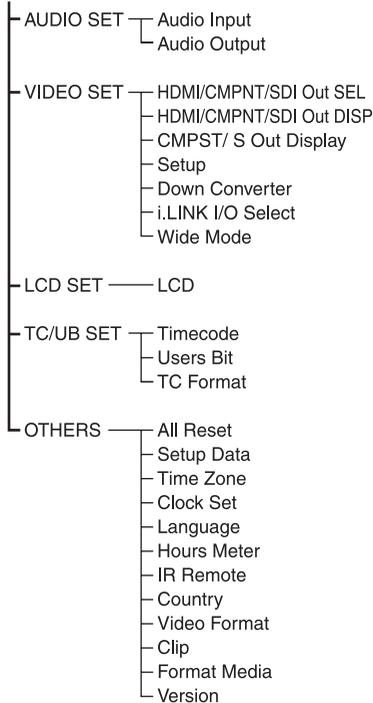
タイムコードとユーザービットに関する設定を行います (100 ページ)。

📺 OTHERS メニュー

その他の設定を行います (101 ページ)。

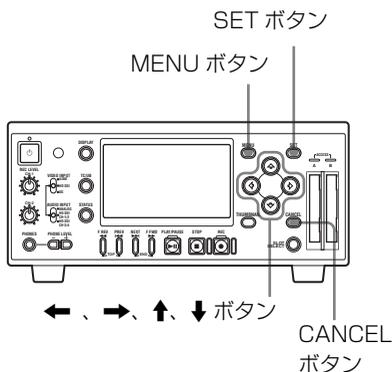
セットアップメニューの階層

MENU



セットアップメニューの基本操作

本項では、セットアップメニューの基本的な設定方法を説明します。



セットアップメニューを表示させるには

MENU ボタンを押します。

モニター画面にメニューアイコンが表示されます。

前回設定したメニューのアイコンにカーソルが表示され、右に対応するメニュー項目選択エリアが表示されます。

例：00:00 (TC/UB SET メニューのアイコン) にカーソルがある場合

メニューアイコン



メニュー項目選択エリア

メニューを設定するには

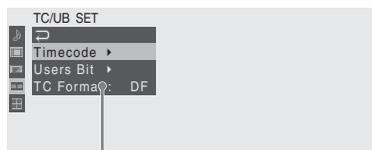
1 ↑、↓ ボタンを押して、設定したいメニューのアイコンにカーソルを合わせる。

アイコン右のメニュー項目選択エリアに、選択できるメニュー項目が表示されます。

2 SET ボタンを押す。

カーソルがメニュー項目選択エリアに移動します。

➡ ボタンを押して、カーソルをメニュー項目選択エリアに移動することもできます。



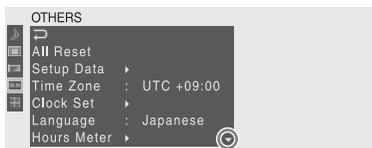
メニュー項目選択エリア

- さらに設定細目を選択する項目の場合は、右に▶が表示されます。
- 細目のない項目の場合は、右に現在の設定値が表示されます。
- ⏪ を選ぶか CANCEL ボタンを押すと一つ前の階層に戻ります。

メニュー項目選択エリアは最大7行表示です。選択できない場合は、カーソルを上下に移動すると表示がスクロールします。

項目選択エリアの右上隅または右下隅に、スクロール可能なことを示す三角マークが表示されます。

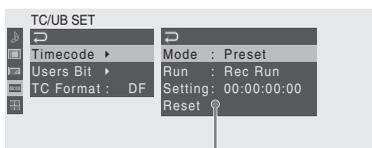
OTHERS メニューの例



メニュー項目がまだあるときに表示されます（上にあるときは上端に▲）。

- 3** ↑、↓ ボタンを押して設定したいメニュー項目にカーソルを合わせ、SET ボタンを押して決定する。

メニュー項目選択エリアの右に設定エリアが表示され、カーソルが先頭の細目に移動します。

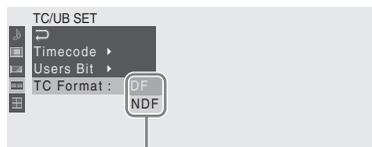


設定エリア

- 細目と現在の設定値が表示されます。
-  を選ぶか CANCEL ボタンを押すと一つ前の階層に戻ります。

On/Off や切り換えのみで細目のない項目を選択した場合は、項目の右に選択肢が表示され、現在選択されている値にカーソルが移動します。この場合は、手順 **5** に進んでください。

例

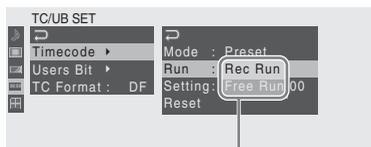


選択肢

CANCEL ボタンを押すと一つ前の階層に戻ります。

- 4** 細目がある項目では、↑、↓ ボタンを押して設定したい細目にカーソルを合わせ、SET ボタンを押して決定する。

選択した細目の選択肢が表示され、現在選択されている値にカーソルが移動します。



選択肢エリア

CANCEL ボタンを押すと一つ前の階層に戻ります。

- 選択肢エリアは最大7行表示です。選択肢が1度に表示できない場合は、カーソルを上下に移動すると表示がスクロールします。選択肢エリアの右上隅または右下隅に、スクロール可能なことを示す三角マークが表示されます（手順 **3** の図参照）。
- 選択肢の範囲が大きい項目の場合（例：- 99 ~ + 99）は、選択肢エリアは表示されません。文字がハイライト表示になり設定変更が可能な状態であることを示します。

- 5** ↑、↓ ボタンを押して設定したい値を選び、SET ボタンを押して決定する。決定を取り止める場合は、CANCEL ボタンを押す。

SET ボタンを押すと設定が変更され、変更後の状態が表示されます。実行項目で Execute を選択した場合は、対応する機能が実行されます。CANCEL ボタンを押すと、一つ前の階層に戻ります。

実行前に確認が必要な項目では

手順 **3** で、実行前に確認が必要な項目を選択すると、いったんメニューが消え、確認メッセージが表示されます。メッセージに従って、実行するか中止するかを選択してください。

文字列を入力するには

タイムデータやファイル名など、文字列を設定する項目を選択した場合は、文字列の入力エリアがハイライト表示になり、右端に SET が表示されます。

- 1** ↑、↓ ボタンを押して文字を選択し、SET ボタンを押して決定する。

カーソルが次の位置に移動します。
前の位置に戻りたいときは、CANCEL ボタンを押します。

- 2** 同様に最後の位置まで設定する。

カーソルが SET に移動します。

- 3** SET ボタンを押す。

設定が完了します。

メニュー操作を終了するには

MENU ボタンを押します。
通常の画面に戻ります。

セットアップメニュー一覧

各メニュー項目の機能および設定値は以下のとおりです。

なお、出荷時の初期設定値は、太文字（例：**Preset**）で示します。

AUDIO SET メニュー

メニュー項目	細目と設定値	内容
Audio Input 音声入力に関する設定	1KHz Tone On / Off	記録 /E-E モード時に VIDEO INPUT スイッチを SG に設定している場合、1kHz の基準音声信号をオン / オフする。
	Rec Level Preset / Manual	オーディオ記録レベルをプリセット値に固定するか、前面パネルの REC LEVEL つまみ (CH-1、CH-2) で調整するかを設定する。 【注意】 VIDEO INPUT スイッチを iLINK または SG に設定している場合は、この項目は無効（グレー表示）になります。
Audio Output 音声出力に関する設定	Monitor CH CH-1 / CH-2 (CH-3 / CH-4) CH-1+CH-2 (CH-3+CH-4) CH-1 (CH-3) CH-2 (CH-4)	ヘッドホンおよびスピーカーに出力する音声チャンネルを選択する。 CH-1 / CH-2 (CH-3 / CH-4) : ステレオ CH-1+CH-2 (CH-3+CH-4) : ミックス CH-1 (CH-3) : チャンネル 1 (チャンネル 3) のみ CH-2 (CH-4) : チャンネル 2 (チャンネル 4) のみ Output CH の設定に応じて、CH-1、CH-2 の組み合わせまたは CH-3、CH-4 の組み合わせとなる。
	Output CH CH-1,CH-2 CH-3,CH-4	AUDIO OUTPUT CH-1/3、CH-2/4 端子およびヘッドホン、HDMI 端子からの音声出力をチャンネル 1 と 2 にするか、チャンネル 3 と 4 にするかを選択する。 【注意】 • VIDEO INPUT スイッチを HD SDI または SG に設定している場合は、記録 /E-E モード時にこの項目は無効（グレー表示）になります。 • iLINK 入力選択時は、CH-1,CH-2 に設定してください。



VIDEO SET メニュー

メニュー項目	設定値	内容
HDMI/CMPNT/ SDI Out SEL HDMI/ コンポーネント /SDI 出力の設定 () 内の設定値は PAL フォーマット 選択時 (OTHERS メニューの Country を PAL Area に設定している場合) に表示される。	1080i/720P 1080i 480i (576i) 480P (576P)	HDMI 端子、COMPONENT 端子、HD/SD SDI OUTPUT 端子からの出力信号を選択する。 1080i/720P：記録・再生している信号と同じ HD 信号 1080i：1080i 信号 (720P フォーマットの信号は 1080i 信号に変換) 480i (576i)：ダウンコンバートした SD 信号 480P (576P)：ダウンコンバートした SD プログレッシブ信号 ご注意 iLINK I/O Select を DVCAM に設定している場合は、無効 (グレー表示) となり、設定は 480i (576i) に固定されます。
HDMI/CMPNT/ SDI Out DISP HDMI/ コンポーネント /SDI 出力に対する文字情報の設定	On / Off	HDMI 端子、COMPONENT 端子、HD/SD SDI OUTPUT 端子からの出力信号に、液晶ディスプレイに表示されるのと同じ文字情報 (メニューやステータス) を加えるかどうかを選択する。
CMPST/ S Out Display コンポジット /S ビデオ出力に対する文字情報の設定	On / Off	COMPOSITE 端子および S-VIDEO 端子からの出力信号に、液晶ディスプレイに表示されるのと同じ文字情報 (メニューやステータス) を加えるかどうかを選択する。
Setup コンポジット信号へのセットアップ 付加の設定	On / Off	NTSC フォーマットの出力を選択しているとき、COMPOSITE 端子からの出力信号に 7.5% のセットアップを付加するかどうかを選択する。 ご注意 PAL フォーマットの選択時は無効 (グレー表示) になります。

メニュー項目	設定値	内容
Down Converter ダウンコンバーターの動作モード選択	Squeeze / Letterbox / Edge Crop	COMPOSITE 端子、S-VIDEO 端子からの出力および COMPONENT 端子、HD/SD SDI OUTPUT 端子からの出力が SD 信号のとき、出力モード（アスペクト）を設定する。 Squeeze ：16:9 画像を左右方向に縮小して 4:3 画像として出力 Letterbox ：4:3 画像の上下をマスクして、画面中央に 16:9 映像を表示 Edge Crop ：16:9 画像の両端をカットして 4:3 画像として出力 ご注意 記録 / 再生中は無効（グレー表示）になります。
i.LINK I/O Select i.LINK I/O 端子の入出力信号の設定	HDV / DVCAM / Off	i.LINK I/O 端子の入出力を無効（Off）にするか、入出力信号のフォーマット（HDV または DVCAM）を設定する。 ご注意 <ul style="list-style-type: none"> • HQ 1080/24P、HQ 720/24P のフォーマットで記録されたクリップを再生して、DVCAM フォーマットの信号を出力することはできません。 • DVCAM フォーマットの入力信号を記録したり、E-E 画を表示することはできません。
Wide Mode ワイド画面情報の設定	On / Off	COMPOSITE、S-VIDEO、COMPONENT、i.LINK I/O 端子から出力される SD 信号にワイド画面情報を付加したいときに On にする。

LCD SET メニュー

メニュー項目	細目と設定値	内容
LCD 液晶ディスプレイに関する設定	Color - 99 ~ + 99 (± 0)	色の濃さを設定する。
	Contrast - 99 ~ + 99 (± 0)	コントラスト（明暗の差）を設定する。
	Brightness - 99 ~ + 99 (± 0)	明るさを設定する。
	Backlight - 99 ~ + 99 (± 0)	バックライトの明るさを設定する。



TC/UB SET メニュー

メニュー項目	細目と設定値	内容
Timecode タイムコードに関する設定	Mode Preset / Regen / Ext Regen	タイムコードの歩進モードを設定する。 Preset：プリセットモード（設定された状態から歩進） Regen：リジェネモード（前のクリップのタイムコードに続けて歩進） Ext Regen：外部リジェネモード（HD SDI INPUT 端子に入力した SDI 信号に重畳されているタイムコードに同期させて歩進）
	Run Rec Run / Free Run	タイムコードの歩進モードがプリセットのとき、歩進方法を設定する。 Rec Run：記録時のみ歩進 Free Run：記録に関係なく常に歩進
	Setting	タイムコードの歩進モードがプリセットのとき、タイムコードを任意の値に設定する。値を入力後、SET を選択して決定する。
	Reset Execute / Cancel	タイムコードを 00:00:00:00 にリセットする。 Execute：実行 Cancel：中止
Users Bit ユーザービットに関する設定	Setting	ユーザービットを任意の値に設定する。 ご注意 Timecode の Mode を Ext Regen に設定している場合、この項目は無効になります。
TC Format NTSC タイムコードのフォーマットの設定	DF / NDF	NTSC タイムコードのフォーマットを設定する。 DF：ドロップフレーム NDF：ノンドロップフレーム ご注意 Timecode の Mode を Ext Regen に設定している場合、この項目は無効になります。

OTHERS メニュー

メニュー項目	細目と設定値	内容
All Reset 工場出荷状態へのリセット	Execute / Cancel	<p>全設定を工場出荷状態（標準値）に戻す（現在日時、タイムゾーンの設定、タイムコードジェネレータが生成しているタイムコードの値を除く）。</p> <p>Execute：実行 Cancel：中止</p> <p>ご注意</p> <p>記録 / 再生中は無効（グレー表示）になります。</p>
Setup Data 全設定値のSxSメモリーカードへの保存と呼び出し	Store Execute / Cancel	<p>全設定値をSxSメモリーカードへ保存する（現在日時、タイムゾーンの設定、タイムコードジェネレータが生成しているタイムコードの値を除く）。</p> <p>Execute：実行 Cancel：中止</p> <p>ご注意</p> <p>書き込み可能なメモリーカードが装着されていない場合や記録 / 再生中は無効（グレー表示）になります。</p>
	Recall Execute / Cancel	<p>全設定値をSxSメモリーカードから呼び出す（現在日時、タイムゾーンの設定を除く）。</p> <p>Execute：実行 Cancel：中止</p> <p>ご注意</p> <p>アクセス可能なメモリーカードが装着されていない場合や記録 / 再生中は無効（グレー表示）になります。</p>
Time Zone 時差の設定	UTC - 12:00 ~ UTC + 14:00 (UTC +9.00)	UTC（グリニッジ標準時）からの時差を30分単位で設定する。

メニュー項目	細目と設定値	内容
Clock Set 内蔵時計に関する設定	Date / Time	現在日時を設定する。 ご注意 記録中は無効（グレー表示）になります。
	12H / 24H	時刻の表示形式を選択する。 12H：12 時間表示 24H：24 時間表示
	Date Mode YYMMDD / MMDDYY / DDMMYY	年月日の表示方式を選択する。 YYMMDD：年月日の順 MMDDYY：月日年の順 DDMMYY：日月年の順
Language メッセージ表示言語の切り換え	English / Japanese / Chinese	English：英語表示 Japanese：日本語表示 Chinese：中国語表示 ご注意 日本語表示は、警告や注意メッセージにのみ有効です。メニューやステータス表示の言語は切り換わりません。
Hours Meter 積算時計の表示	Hours (Sys)	積算使用時間を表示する（リセット不可）。
	Hours (Reset)	積算使用時間を表示する（リセット可）。
	Reset Execute / Cancel	Hours (Reset) 表示を 0 にリセットする。 Execute：実行 Cancel：中止
IR Remote 赤外線リモートコマンドのオン / オフ	On / Off	付属の赤外線リモートコマンドでの操作を無効にしたいときに Off にする。
Country 使用地域の設定	NTSC Area / PAL Area	使用する地域のカラー方式を選択する。 ご注意 記録 / 再生中は無効（グレー表示）になります。

メニュー項目	細目と設定値	内容
Video Format ビデオフォーマットの切り換え	Country が NTSC Area のとき HQ 1080/60i SP 1080/60i HQ 1080/30P HQ 1080/24P HQ 720/60P Country が PAL Area のとき HQ 1080/50i SP 1080/50i HQ 1080/25P HQ 720/50P	ビデオフォーマット（ビットレート、有効ライン数、フレームレート、スキャン方式）を設定する。 ビットレート：HQ または SP 有効ライン数：1080 または 720 フレームレート：50 または 60、24、25、30 スキャン方式：i（インターレース）または P（プログレッシブ）

メニュー項目	細目と設定値	内容
Clip クリップの名称や 情報、削除に関する 設定	Title Prefix nnn_ (nnn はシリアル No. の下 3 桁)	クリップ名のタイトル部分 (4 桁の英数字) を設定する。アルファベットの小文字 a ~ z、大文字 A ~ Z、数字 0 ~ 9、- (ハイフン)、_ (アンダーバー) を使用可。
	Number Set 0001 ~ 9999	クリップ名の番号部分 (4 桁) を設定する。
	Update Media (A) / Media (B)	記録メディア内の管理ファイルを更新する。 Media (A) : スロット A のメモリーカードの管理ファイルを更新 Media (B) : スロット B のメモリーカードの管理ファイルを更新 ご注意 書き込み可能なメモリーカードが装着されていない場合や記録 / 再生中は、該当の選択肢が無効 (グレー表示) になります。
	All Clips DEL Execute / Cancel	SxS メモリーカード内のすべてのクリップを削除する。 Execute : 実行 Cancel : 中止 ご注意 • OK マークが付加されたクリップは削除できません。 • 書き込み可能なメモリーカードが装着されていない場合や、記録 / 再生中は、無効 (グレー表示) になります。
All Clips CPY A→B / B→A	SxS メモリーカードを 2 枚使用している場合に、いずれかのカード内のすべてのクリップを別のカードにコピーする。 A→B : スロット A のカードからスロット B のカードへクリップをコピー B→A : スロット B のカードからスロット A のカードへクリップをコピー ご注意 この項目は以下の場合無効 (グレー表示) になります。 • コピー先スロットに書き込み可能なメモリーカードが装着されていない • コピー元スロットに使用可能なメモリーカードが装着されていない • 記録 / 再生中	

メニュー項目	細目と設定値	内容
Format Media SxS メモリーカード の初期化	Media(A) Execute / Cancel	スロット A の SxS メモリーカードを初期化する。 Execute : 実行 Cancel : 中止
	Media(B) Execute / Cancel	スロット B の SxS メモリーカード B を初期化する。 Execute : 実行 Cancel : 中止
Version 本機のバージョン を表示	Vx.xx	本機のソフトウェアバージョンを表示する。

付録

使用上のご注意



使用・保管場所

水平な場所、空調のある場所に保管してください。

次のような場所での使用および保管は避けてください。

- 極端に寒いところや暑いところ（使用温度は5°C～40°Cです。）
- 直射日光が長時間当たるところや暖房器具の近く（真夏の窓を締め切った自動車内では50°Cを越えることがありますので、ご注意ください。）
- 湿気、ほこりの多いところ
- 雨があたるところ
- 激しく振動するところ
- 強い磁気を発生するものの近く
- 強力な電波を発生するテレビ、ラジオの送信所の近く

スタンド（付属）を使用してください

縦置きで使用する場合は、必ず付属のスタンドを使用してください。

強い衝撃を与えないでください

落としたりして強い衝撃を与えると故障することがあります。

通風口をふさがないようにしてください

温度上昇を防ぐため、動作中に布などで包まないでください。

お手入れ

キャビネットやパネルの汚れは、乾いた柔らかい布で軽くふきとってください。汚れがひどいときは、中性洗剤溶液を少し含ませた布で汚れをふきとり、乾いた布で仕上げてください。アルコール、ベンジン、シンナー、殺虫剤など、揮発性のものをかけると、変質したり塗装がはげたりすることがあります。

輸送のときは

- メモリーカードは必ず取り出しておい
- ててください。
- 付属の Karton、または同等品で梱包し、急激な衝撃を与えないように注意してください。

使い終わったら

電源ボタンを押して電源を切ってください。

長時間使わないときは

AC電源の接続を外してください（30ページ参照）。

携帯電話などによる電波障害を防止するために

携帯電話などを本機の近くで使用すると、誤動作を引き起こしたり、映像、音声などに影響を与えることがあります。本機の近くでは、携帯電話などの電源はできるだけ切ってください。

ファイルの断片化について

画像が正しく記録・再生されないときは記録メディアをフォーマット（初期化）してください。長期間、映像の記録・クリップの消去を繰り返していると、記録メディア内のファイルが断片化（フラグメンテーション）して、映像が正しく記録・保存できなくなる場合があります。このような場合は、クリップのバックアップを取ったあと、OTHERSメニューの Format Media（（105 ページ参照）で記録メディアのフォーマット（初期化）を行ってください。

LCD（液晶）画面について

LCD 画面は有効画素 99.99% 以上の非常に精密度の高い技術で作られています。黒い点が現れたり、白、赤、青、緑の点が消えないことがあります。この現象は故障ではなく、これらの点が記録されることはありませんので、安心してお使いいただくことができます。

定期点検

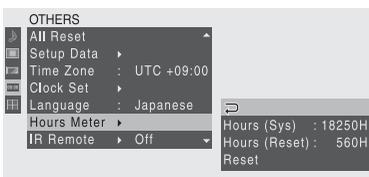
デジタル時間計

デジタル時間計は、本機の使用時間を累計して表示します。定期点検の目安として、この時間計をご利用ください。なお、定期点検は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

デジタル時間計を表示するには

OTHERS メニューの Hours Meter を選択します。

本機の積算使用時間（通電時間）が1時間単位で表示されます。

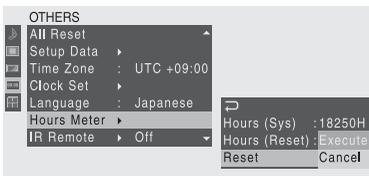


Hours (Sys)：工場出荷後から現在までの積算使用時間が表示されます。

Hours (Reset)：前回リセットされた時点から現在までの積算使用時間が表示されます。

積算使用時間をリセットするには

Reset を選択し、Execute を選択して SET ボタンを押します。



トラブル時の対処

本機を操作中、モニター画面に警告メッセージが表示されたり、故障かなと思ったときは、ソニーのサービス窓口

に連絡する前に、下記の項目を確認してください。

記録・再生

症状	原因	対処
REC ボタンを押しても記録が始まらない。	SxS メモリーカードがプロテクトされている。	プロテクトを解除する (40 ページ参照) か、またはプロテクトされていない SxS メモリーカードに交換する。
	SxS メモリーカードの容量がいっぱいになっている。	十分な空き容量のある SxS メモリーカードに交換する。
	修復が必要な SxS メモリーカードが入っている。	メモリーカードを修復する (44 ページ参照)。
	入力信号と本機のビデオフォーマットが一致していない。	本機のビデオフォーマットを入力信号と同じフォーマットに設定する (34 ページ参照)。
付属の赤外線リモートコンマンドが働かない	リモートコンマンド操作が無効になっている。	リモートコンマンド操作を有効にする (49 ページ参照)。
	リモートコンマンドの電池が消耗している。	電池を交換する (50 ページ参照)。
音声が記録できない。	REC LEVEL つまみが最小の位置になっている。	REC LEVEL つまみを調整して、記録し直す (55 ページ参照)。
記録した音声がひずんでいる。	音声レベルが高すぎる。	AUDIO INPUT LEVEL スイッチの設定を変更して、記録し直す (54 ページ参照)。
雑音が多い。	音声レベルが低すぎる。	REC LEVEL つまみを調整して、記録し直す (55 ページ参照)。
REC LEVEL つまみを回してもオーディオ入力レベルが変化しない。	オーディオ入力レベルの調整がプリセットに設定されている。	AUDIO SET メニューの Audio Input で、Rec Level を Manual に設定する (97 ページ参照)。

タイムデータ関連

症状	原因	処置
タイムデータの初期値を任意に設定できない。	リジェネレートモードまたは外部リジェネレートモードになっている。	TC/UB SET メニューの Timecode で、Mode を Preset に設定する（100 ページ参照）。



外部ビデオモニター関連

症状	原因	処置
モニター画面に文字情報が表示されない。	DISPLAY ボタンがオフになっている。	DISPLAY ボタンをオンにする。
	スーパーインポーズの設定がオンになっていない。	VIDEO SET メニューで HDMI/CMPNT/SDI Out DISP または CMPST/S Out を On に設定する（98 ページ参照）。
モニターの映像が明るすぎる。	モニターのビデオ入力端子の 75Ω 終端スイッチが OFF になっているか、終端器が取り付けられていない。	75Ω 終端スイッチを ON にするか、終端器を取り付ける。
モニターの映像が暗すぎる。	複数のモニターを使ってビデオ信号をブリッジ接続しているとき、2 台以上のモニターでビデオ入力端子の 75Ω 終端スイッチが ON になっている。	ブリッジ接続している端子の 75Ω 終端スイッチを OFF にする。

外部機器

症状	原因	処置
iLINK 接続しても接続先の機器に画像が映らないなど、接続先の機器が反応しない。	認識するまでに時間がかかる場合がある。	約 15 秒間、そのまま待つ。それでも認識しないときは、以下を行う。 ・ iLINK ケーブルを差し込み直すなどして、接続状態を確認する。 ・ 電源を切って、接続し直す。 ・ iLINK ケーブルを交換する。
	本機の実出力フォーマットと接続機器の入力フォーマット (HDV または DVCAM) が一致していない。	接続機器のビデオフォーマットを本機のビデオフォーマットと同じになるように設定する。
	本機のビデオフォーマットが SP1080/60i 以外に設定されている。	本機のビデオフォーマットを SP1080/60i に設定する。
	再生しているクリップが、SP1080/60i、SP1080/24P 以外のフォーマットで記録されている。	SP1080/60i または SP1080/24P で記録されているクリップを再生する。

警告表示

本機を操作中、モニター画面に次のような警告メッセージが表示されることがあります。メッセージに従って対策を行ってください。

(OTHERS メニューの Language を English に設定した場合、メッセージは英文で表示されます。)

警告表示	原因と対策
メディア残量がわずかです。 Media Near Full	SxS メモリーカードの残量が少なくなっています。早い機会に交換してください。
メディア残量がありません。 Media Full	SxS メモリーカードの残量がないため、記録、コピー、クリップ分割はできません。交換してください。
電源電圧が低下しています。 Voltage Low	DC IN 電圧が低くなっています (段階 1)。供給電源を確認してください。
電源電圧が不足しています。 Insufficient Voltage	DC IN 電圧が低すぎます (段階 2)。記録はできません。他の電源に接続しなおしてください。

警告表示	原因と対策
バックアップ電池残量がありません。交換してください。 Backup Battery End Please Change.	バックアップ電池の残量が不足しています。バックアップ電池を交換してください。 電池の交換については、ソニーのサービス窓口にご連絡ください。
メディア (A) ^{a)} は使用できません。交換してください。 Unknown Media(A) ^{a)} Please Change.	パーティションが切られているメモリーカードや、本機で扱えるクリップ数を超過して記録されたメモリーカードが挿入されました。本機では使用できませんので、交換してください。
メディアエラーが発生しました。メディア (A) ^{a)} は修復が必要です。 Media ErrorMedia(A) ^{a)} Needs to be Restored	メモリーカードに異常が発生し、修復が必要な状態になりました。メモリーカードを一度抜いてから再挿入して、カードの修復を行ってください。
メディアエラーが発生しました。メディア (A) ^{a)} は記録できません。 Media Error Cannot Record to Media(A) ^{a)}	メモリーカードが故障して、記録ができなくなりました。再生は可能ですので、コピーをとるなどして、新しいメモリーカードに交換することをお勧めします。
メディアエラーが発生しました。メディア (A) ^{a)} は使用できません。 Media Error Cannot Use Media(A) ^{a)}	メモリーカードが故障して記録も再生もできなくなりました。本機では扱えませんので、他のカードに交換してください。
ビデオフォーマットが違います。 Video Format Mismatch	Video Format 設定が外部入力信号フォーマットと異なっているため、iLINK 接続による外部入力信号を記録できません。OTHERS メニューの Video Format を外部入力信号に合わせて設定し直してください。
コピー制御信号を検出しました。記録できません。 Copy Protected Input Cannot Record	ストリームにコピープロテクトがかかっているため、iLINK 接続による外部入力信号を記録できません。入力信号を確認してください。
メディアエラーが発生しました。再生を停止しました。 Media Error Playback Halted	メモリーカードからの読み出しにエラーが発生したため、再生を続けられません。頻繁に起きる場合には、コピーをとるなどをして、メモリーカードを交換してください。
メディア (A) ^{a)} にエラーが発生しました。 Media(A) ^{a)} Error	メモリーカードに異常が発生したため、記録できません。頻繁に起きる場合には、メモリーカードを交換してください。
メモリーカードの寿命がきました。 Media Reached Rewriting Limit Change Media (A) ^{a)}	バックアップをとり、速やかに交換してください。継続して使用すると、正常に記録・再生できない可能性があります。詳しくは、メモリーカードの取扱説明書をご覧ください。



警告表示	原因と対策
扱えないクリップが含まれています。このメディア (A) a) は使用できません。 Unsupported Clip Included Cannot Use Media (A) a)	本機で扱えないフォーマットで記録されたクリップが含まれているため、挿入したメモリーカードは本機では使用できません。

a) スロット B に入れたカードの場合は (B)

エラー表示

本機は、内部の異常を検出する自己診断機能を備えています。異常が発見された場合は、モニター画面にエラーメッセー

ジが表示されます。エラーメッセージが表示された場合、本機は動作を停止します。

エラー表示	原因と対策
E+ エラーコード	本体の異常の可能性があります。電源を切り、ソニーのサービス窓口にご連絡ください。(電源ボタンを押しても電源が切れない場合は、AC 電源の接続も外してください。)

i.LINK について

ここでは、i.LINK の規格や特長について説明します。

i.LINK とは？

i.LINK は i.LINK 端子を持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのデータを双方向でやりとりしたり、他機をコントロールしたりするためのデジタルシリアルインターフェースです。

i.LINK 対応機器は、i.LINK ケーブル 1 本で接続できます。多彩なデジタル AV 機器を接続して、操作やデータのやりとりができることが考えられています。

複数の i.LINK 対応機器を接続した場合、直接つないだ機器だけでなく、他の機器を介してつながれている機器に対しても、操作やデータのやりとりができます。

ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続しても操作やデータのやりとりができない場合があります。

i.LINK (アイリンク) は IEEE1394 の親しみやすい呼称としてソニーが提案し、国内外多数の企業からご賛同いただいている商標です。

IEEE1394 は電子技術者協会によって標準化された国際標準規格です。

ご注意

i.LINK ケーブル (DV ケーブル) で本機と接続できる機器は通常 1 台だけです。複数接続できる HDV 対応機器と接続す

るときは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

i.LINK の転送速度について

i.LINK の最大データ転送速度は機器によって違い、以下の 3 種類があります。
S100 (最大転送速度 約 100Mbps¹⁾)
S200 (最大転送速度 約 200Mbps)
S400 (最大転送速度 約 400Mbps)

転送速度は各機器の取扱説明書の「仕様」欄に記載され、また、機器によっては i.LINK 端子周辺に表記されています。

1) 最大データ転送速度が異なる機器と接続した場合、転送速度が表記と異なることがあります。

Mbps とは？

「Mega bits per second」の略で「メガビーピーエス」と読みます。1 秒間に通信できるデータの容量を示しています。100Mbps ならば 100 メガビットのデータを送ることができます。

本機での i.LINK 操作は

他の i.LINK (HDV/DVCAM) 対応機器と接続して使用方法については、(85 ページ参照) をご覧ください。

接続の際のご注意および、本機に対応したアプリケーションソフトウェアの有無などについては、接続する機器の取扱説明書を併せてご覧ください。

ご注意

本機は、HDV または DVCAM 対応機器からの AV/C コマンドで記録または再生動作をコントロールすることができます。ただし、本機から他の HDV/DVCAM 対応機器を AV/C コマンドでコントロールすることはできません。

必要な i.LINK ケーブル

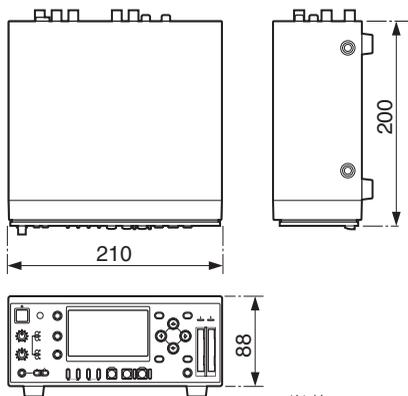
ソニー製の 6 ピン ↔ 4 ピンまたは 6 ピン ↔ 6 ピンの i.LINK ケーブルをお使いください (ダビング時)。

i.LINK と  は商標です。

仕様

一般

- 電源 DC 12.0V
- 消費電力 12 W
- 動作温度 5℃～40℃
- 保存温度 -20℃～+60℃
- 質量 2.0kg (本体のみ)
2.3kg (AC アダプター、スタンドを含む)
- 外形寸法 (幅 / 高さ / 奥行き、最大突起含まず)
210 × 88 × 200mm



単位：mm

記録・再生フォーマット

- ビデオ HQ モード：MPEG-2
 - MP@HL、35Mbps/VBR
 - 1920 × 1080/59.94i、50i、23.98P、29.97P、25P
 - 1280 × 720/59.94P、50P
- SP モード：MPEG-2 MP@H-
 - 14、25Mbps/CBR
 - 1440 × 1080/59.94i、50i

オーディオ

LPCM (16 ビット、48kHz、
2チャンネル)

記録再生時間

SBP-8 使用時

SP モード：約 35 分

HQ モード：約 25 分

SBP-16 使用時

SP モード：約 70 分

HQ モード：約 50 分

SBS-32/SBS-32G1/

SBS-32G1A 使用時

SP モード：約 140 分

HQ モード：約 100 分

SBS-64G1A 使用時

SP モード：約 280 分

HQ モード：約 200 分

表示部

LCD ディスプレイ

画面サイズ：対角 8.8cm (3.5
型)

アスペクト比：16:9

画素数：640 (H) × 3

(RGB) × 480 (V)、デル
タ配列

透過方式：ハイブリッド (半
透過) 型

入出力部

入力端子

AUDIO INPUT

ピンジャック (2)、2 チャン
ネル (CH-1、CH-2)

- 10/ - 2/ + 4dBu、47k Ω
以上、不平衡

最大入力レベル

+ 4 : + 24dBu (約 12.5
Vrms)

HD SDI INPUT

BNC 型

SMPTE 292M 準拠

DC IN 端子

DC ジャック

出力端子

COMPOSITE

BNC 型、1.0V_{p-p}、75 Ω 、不
平衡

S-VIDEO 4 ピンミニ DIN

Y : 1.0 V_{p-p}、75 Ω 、不平衡、
同期負

C : 0.286V_{p-p} (NTSC)、
0.3V_{p-p} (PAL)、75 Ω 、不
平衡

COMPONENT

BNC 型 (3)

Y : 1.0V_{p-p}、75 Ω

Pb/Pr : 0.7V_{p-p}、75 Ω

AUDIO OUTPUT

ピンジャック (2)、2 チャン
ネル (CH-1/3、CH-2/4)、
1k Ω 以下

出力レベル (47k Ω 負荷時、
不平衡)

60i/50i 時 : - 10dBu (Fullbit
- 20dB)

HD/SD SDI OUTPUT

BNC 型

HD : SMPTE 292M 準拠

SD : SMPTE 259M 準拠

HDMI

Type A 19 ピン

映像 : 480i、576i、480p、
576p、1080i、720p

音声 : リニア PCM、48kHz/
16 ビット、2 チャンネル

PHONES

ステレオミニジャック、16 Ω

PC 接続端子

 HDV/DV



仕様

i. LINK : 6 ピン端子、
IEEE1394、S400
USB mini-B/USB2.0 Hi-Speed

付属品

AC アダプター MPA-AC1 (1)
AC 電源コード (1)
赤外線リモートコマンダー (1)
USB ケーブル (1)
縦置き用スタンド (2)
取扱説明書 (1)
CD-ROM
Utility Software for XDCAM
(専用アプリケーションソ
フトウェア、SxS デバイス
ドライバソフトウェアを収
録) (1)
Manuals for Solid-State
Memory Recorder (PDF 版
取扱説明書を収録) (1)
保証書 (1)
SxS デバイスドライバソフトウェア使用
許諾契約書 (1)

別売品

SxS メモリーカード
SxS PRO SBP-16 (16GB)
SxS PRO SBP-32 (32GB)
SxS-1 SBS-32G1A (32GB)
SxS-1 SBS-64G1A (64GB)
メディアアダプター
MEAD-MS01 (“メモリース
ティック PRO-HG デュオ”
HXA シリーズ用)
MEAD-SD01 (SDHC カード
用)
SxS メモリーカード USB リーダー/ラ
イター
SBAC-US10
モバイルストレージユニット

PXU-MS240
プロフェッショナルハードディスクユ
ニット

PHU-120R

仕様および外観は、改良のため予告なく
変更することがありますが、ご了承ください。
さい。

この装置は、クラス A 情報技術装置で
す。この装置を家庭環境で使用すると
電波妨害を引き起こすことがあります。
この場合には使用者が適切な対策を講
じるよう要求されることがあります。

VCCI-A

- 必ず事前に記録テストを行い、正常
に記録されていることを確認してく
ださい。本機や記録メディア、外部
ストレージなどを使用中、万一これ
らの不具合により記録されなかった
場合の記録内容の補償については、
ご容赦ください。
- お使いになる前に、必ず動作確認を
行ってください。故障その他に伴う
営業上の機会損失等は保証期間中お
よび保証期間経過後にかかわらず、
補償はいたしかねますのでご了承
ください。

MPEG-2 Video Patent Portfolio License について

個人的使用以外の目的で、MPEG-2 規格に合致した本製品をパッケージメディア向けビデオ情報をエンコードするために使用する場合、MPEG-2 PATENT PORTFOLIO の特許に関するライセンスを取得する必要があります。尚、当該ライセンスは、MPEG LA, L.L.C., (住所：250 STEELE STREET, SUITE 300, DENVER, COLORADO 80206) より取得可能です。

PACKAGED MEDIA とは、一般消費者向けに販売・頒布される MPEG-2 コンテンツの入ったメディア (映画 DVD など) を指します。PACKAGED MEDIA を製造・販売・頒布する業者は、MPEG LA からライセンス取得する必要があります。詳しくは、MPEG LA にお問い合わせください。MPEG LA, L.L.C., 250 STEELE STREET, SUITE 300, DENVER, COLORADO 80206
ホームページ：http://www.mpegla.com

保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。

所定の事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときは

お買い上げ店、または添付の「ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーのサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合、ご要望により有料修理させていただきます。

保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げ店、またはソニーのサービス窓口にお問い合わせください。

索引

あ

明るさ	32
アスペクト	78
頭出し	63

い

色の濃さ	32
------------	----

え

液晶ディスプレイ	19
調整	32
エラー表示	112

お

オーディオ出力端子	25
オーディオステータス	90
オーディオ入力	
選択部	18
端子	25
レベルスイッチ	25
レベル調整	53
レベル調整部	17

か

カーソル (←、→、↑、 ↓) ボタン	17
画面調整	32

き

起動	30
記録	53
可能時間	43
コントロール部	22
ショットマーク	56、58

接続	86
設定	53
操作	55
内容のモニター	55

く

クリップ	60
エクスパンド	69
管理 / 編集	80
コピー	68
再生	60
削除	69
詳細情報	67
選択	62
操作	64
代表画	60
代表画の変更	73
ダビング	83
分割	74
OK マーク	68
クリップ操作メニュー	
エクスパンド画面	71
基本操作	65
構成	64
再生一時停止時	66
サムネイル画面	65
ショットマーク画面	72

け

警告表示	110
------------	-----

こ

高速再生	58
誤消去防止	40
コントラスト	32
コンピューター	
接続端子 (iLINK)	27

接続端子 (USB) ..	26
コンピューターから操作	80

さ

再生	57
一時停止	58
高速再生	58
コントロール部	22
設定	57
操作	57
再生画 / 再生音のモニター	57
サムネイル画面	60
表示	62

し

時刻設定	31
修復	44
出力信号	34
仕様	114
詳細情報	67
使用例	78
初回設定	30
初期化	42
ショットマーク	
画面	71
記録	56、58
削除	73
操作ボタン	28
追加	72、73

す

スーパーインポーズ	51
スタンド	51
ステータス	
オーディオ	90
ビデオ	91



表示 89

メディア 92

リモートコマンダー
..... 92

せ

赤外線リモートコマン
ダー 28、49

ステータス 92

電池交換 50

接続 78

コンピューター 80

ダビング (HDSDI)
..... 83

ダビング (iLINK)
..... 85

入力信号の記録 86

ノンリニア編集 87

ビデオモニター 78

ライブ収録 83

HD SDI 端子 83

セットアップメニュー 93

た

代表画の変更 73

タイムコード
外部同期 77

初期値の設定 (プリ
セット) 76

リジェネレート 77

タイムゾーン 31

タイムデータ 38

設定 / 記録 75

選択 53、57

表示 38

ダウンコンバート 78

縦置き 51

て

定期点検 107

デジタル時間計 107

電源

接続 30

接続端子 26

入 / 切 30、31

ボタン / インジケー
ター 16

と

時計の設定 31

トラブルシューティング
..... 108

に

入 / 出力信号 33

入力信号

接続 86

選択 53

の

ノンリニア編集 82、87

は

バックライト 32

ひ

日付 / 時刻 31

ビデオステータス 91

ビデオ入力選択部 18

ビデオフォーマット 33

設定 34

ビデオモニター 78

ふ

フォーマット 42

へ

ヘッドホン

接続部 21

モニター 55、57

め

メディア

アダプター 47

記録可能時間 43

ステータス 92

メニュー

オーディオ関連 97

基本操作 94

構成 93

その他 101

タイムコード関連
..... 100

ビデオ関連 98

LCD 関連 99

メモリーカード (「SxS メ
モリーカード」参照) 39

も

文字情報 51

や

矢印 (←、→、↑、↓)
ボタン 17

ゆ

ユーザービット設定 76

ら

ライブ収録 83

り

リピート再生 63

リモートコマンダー
ステータス 92

リモートコマンダー (「赤
外線リモートコマン
ダー」参照) 49

A

AC アダプターの接続... 30

AC 電源の接続 30

ACCESS ランプ 23
状態表示 41

All Reset (メニュー) 101

AUDIO INPUT CH-1、
CH-2 端子 25

AUDIO INPUT LEVEL ス
イッチ 25

AUDIO INPUT スイッチ
..... 18

Audio Input (メニュー)
..... 97

AUDIO OUTPUT CH-1/
3、CH-2/4 端子 25

Audio Output (メニュー)
..... 97

AUDIO SET メニュー . 97

AV 単独ファイル 61

C

CANCEL 17

Clip (メニュー) 104

Clock Set (メニュー) 102

CMPST/ S Out Display
(メニュー) 51、98

COMPONENT 端子 25

COMPOSITE 端子 25

Country (メニュー) ... 102

D

Date/Time (メニュー)
..... 31、102

DC IN 端子 26

DF (メニュー) 100

DISPLAY ボタン 16

Down Converter (メ
ニュー) 99

DVCAM 端子 27

E

Edge Crop (メニュー)
..... 78、99

EJECT ボタン 23

F

F FWD ボタン / インジ
ケーター 23

F REV ボタン / インジ
ケーター 22

Final Cut Pro 82

Format Media (メニュー)
..... 105

H

HD SDI INPUT 端子 ... 26
接続 83

HDMI 端子 26

HDMI/CMPNT/SDI Out
DISP (メニュー)
..... 51、98

HDMI/CMPNT/SDI Out
SEL (メニュー) 98

HDSDI
出力端子 26
入力端子 26

HDV 信号

端子 27

HDV/DV 端子 27

HD/SD SDI OUTPUT 端
子 26
接続 83

Hours Meter (メニュー)
..... 102、107

I

IR Remoter (メニュー)
..... 49、102

i.LINK I/O Select (メ
ニュー) 85、99

L

Language (メニュー) 102

LCD SET メニュー 99

LCD (メニュー) ... 32、99

Letterbox (メニュー)
..... 78、99

LINK 113
端子 27

M

MEAD-MS01 47

MEAD-SD01 47

MENU ボタン 16

N

NDF (メニュー) 100

NEXT ボタン / インジ
ケーター 22

NTSC Area (メニュー)
..... 102

O

OK クリップのみ表示.. 61

OK マーク 61



削除	68
付加	68
OTHERS メニュー	101

P

PAL Area (メニュー)	102
PHONE LEVEL ボタン	21
PHONES ジャック	21
PHU-120R.....	45
PLAY/PAUSE ボタン / インジケーター	23
PREV ボタン / インジ ケーター	22

R

REC LEVEL CH-1/CH-2 つまみ	17
REC ボタン / インジケ ーター	23

S

SD 出力モード	78
SDSDI 出力端子	26
SET ボタン	17
Setup Data (メニュー)	101
Setup (メニュー)	98
SHOTMARK 1、2 ボタン	28
Squeeze (メニュー)	78、99
STATUS ボタン	17
STOP ボタン	23
S-VIDEO 端子	25
SxS メモリーカード	39

EJECT ボタン	23
入れかた	41
切り換え	42、58
記録可能時間	43
交換時期	43
誤消去防止	40
修復	44
ステータス	92
スロット	23
スロット 選択ボタン	24
操作部	23
出しかた	41
フォーマット	42

T

TC Format (メニュー)	100
TC/UB SET メニュー	100
TC/UB ボタン	17
THUMBNAIL ボタン ..	17
Time Zone (メニュー)	31、101
Timecode (メニュー)	100

U

USB 端子	26
Users Bit (メニュー)	100

V

Video Format (メニュー)	34、103
VIDEO INPUT スイッチ	18
VIDEO SET メニュー ..	98

記号

⏻ (電源) ボタン / インジ ケーター	16
--------------------------------	----

お問い合わせは

「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

<http://www.sony.co.jp/>